

令和4年度

事業報告及び決算書



公益財団法人
するが企画観光局

目 次

事業報告	1
貸借対照表	5 2
正味財産増減計算書	5 3
正味財産増減計算書内訳表	5 5
財務諸表に対する注記	5 7
附属明細書	5 9
財産目録	6 0
資金調達及び設備投資の実績を記載した書類	6 1
監査報告書	6 2

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 法人の概況

(1) 設立年月日

- 平成7年9月28日 「財団法人静岡コンベンションビューロー」設立
平成19年4月1日 静岡市観光協会と統合し、「財団法人静岡観光コンベンション協会」に名称変更
平成25年4月1日 「公益財団法人静岡観光コンベンション協会」へ移行
平成28年4月22日 日本版DMO候補法人として登録(観光庁)
平成29年10月1日 「公益財団法人するが企画観光局」に名称変更
平成30年3月30日 日本版DMO法人として登録(観光庁)
平成30年6月26日 静岡事務所を「静岡市葵区日出町1番地の2」に移転

(2) 定款に定める目的

この法人は、静岡県中部・志太榛原地域の文化的、社会的、経済的特性等を活用し、観光関連産業の振興と交流人口拡大による地域経済の活性化を促進するとともに、国際的な相互理解の増進、文化の向上及び豊かな人間性に根差した社会の創造に寄与することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容(公益目的事業、収益事業等)

- ① 地域ブランドの価値向上に向けた地域戦略の策定及び周知
- ② 国内外へのプロモーションの実施
- ③ 地域内の周遊促進と受入環境の整備
- ④ 観光関連サービスや地域産品等の企画開発及びその支援
- ⑤ 観光客及びMICEの誘致及び支援に関する事業
- ⑥ 観光施設等の管理運営及び地域産品等の販売
- ⑦ 旅行業法に基づく旅行業
- ⑧ その他この法人の目的達成に必要な事業

(4) 会員の状況

種類	前年度末	当年度末	増減
賛助会員	429	417	▲12

(5) 主たる事務所・従たる事務所の状況

名称	所在地	所管区域・事業内容など
静岡事務所 (本部)	静岡市葵区日出町1番地の2 TOKAI 日出町ビル9階	DMO事業 (静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、 牧之原市、吉田町、川根本町) MICE事業 (静岡市、焼津市、藤枝市、島田市) 静岡市観光振興事業 収益事業、総務(法人運営)
清水事務所	静岡市清水区辻1丁目1番3-103号 アトラス清水駅前1階	静岡市観光振興事業(主に清水区) 収益事業

※従たる事務所はなし

(6) 役員等に関する事項

① 理事

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬の有無	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	田辺信宏	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(一財)静岡市国際交流協会会長他
副理事長	久保田隆	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	静岡市ホテル旅館(協組)理事長 静岡市料理飲食業(協組)理事長他
副理事長	大須賀紳晃	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	株式会社静岡新聞社代表取締役社長 (一財)静岡県年金福祉協会理事長他
専務理事	池田文信	R3.6.10～R5.(注)	常勤	有	(公財)静岡市まちづくり公社理事他
理事	宇野孝伸	R4.9.30～R5.(注)	非常勤	無	
〃	浦田 学	R4.3. 7～R5.(注)	非常勤	無	(一社)清水みなとまちづくり公民 連携協議会監事
〃	大本裕一	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	岡村 渉	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)静岡市文化振興財団理事他
〃	神田優一	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	大井川玉石採取(協)理事長他
〃	北川雅之	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(福)島田市社会福祉協議会評議員他
〃	佐藤 修	R4.3. 7～R5.(注)	非常勤	無	
〃	杉浦 衛	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(福)藤枝市社会福祉協議会評議員他
〃	田形正典	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	中野裕文	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	西村 等	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	富士山静岡空港(株)代表取締役社長
〃	藤原融作	R4.5.10～R5.(注)	非常勤	無	(公社)清水清港会理事他
〃	松永秀昭	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)静岡産業振興協会評議員他
〃	村松悌三朗	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)焼津市振興公社理事
〃	八木健祥	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	静岡県立大学法人静岡県立大学大学院経 営情報イノベーション研究所研究科長
〃	山脇一浩	R4.5.10～R5.(注)	非常勤	無	

(注) 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現理事は令和4年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

② 監事

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬の有無	他の法人等の代表状況等
監事	佐藤正欣	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	有	労働保険事務組合 静岡総合労務センター副理事長
〃	西ヶ谷博行	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	有	(公財)静岡県私立幼稚園退職基金 財団監事他
〃	吉田雄一	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	有	全国水産加工業協同組合連合会監事

(注) 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現監事は令和6年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

③ 評議員

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬の有無	他の法人等の代表状況等
評議員	岩崎浩季	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	しずおか焼津信用金庫理事
〃	大井一郎	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	株式会社ドリームプラザ代表取締役社長他
〃	影島英一郎	R4.5.10～R7.(注)	非常勤	無	(公財)浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー評議員
〃	川井敏行	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	静岡鉄道株式会社代表取締役社長他
〃	川本晋輔	R3.8.20～R7.(注)	非常勤	無	静岡信用金庫常勤理事他
〃	小阪秀彦	R3.8.20～R7.(注)	非常勤	無	(公財)静岡産業振興協会理事
〃	小林敏彦	R4.5.10～R7.(注)	非常勤	無	スルガ銀行株式会社静岡支店長
〃	榛葉晴彦	R4.9.30～R7.(注)	非常勤	無	
〃	関根俊介	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	ファイブパートナーズ(株)取締役
〃	都築東一郎	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	株式会社 JTB 静岡支店長
〃	中村智浩	R4.9.30～R7.(注)	非常勤	無	(公財)浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー評議員他
〃	原田佳典	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	
〃	前田邦彦	R4.5.10～R7.(注)	非常勤	無	
〃	望月哲也	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	(一財)静岡市国際交流協会評議員他
〃	本柳 純	R3.11.30～R7.(注)	非常勤	無	近畿日本ツーリスト株式会社静岡支店長
〃	吉永浩己	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	

(注) 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現評議員は令和6年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

④ 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
田中 義臣	理事	令和4年5月10日	一身上の都合により辞任
中山 孝宏	理事	令和4年5月10日	一身上の都合により辞任
野村 一正	理事	令和4年5月10日	一身上の都合により辞任
鈴木 靖和	理事	令和4年6月9日	死亡により辞任
都築 直哉	評議員	令和4年5月10日	一身上の都合により辞任
桃瀬 弘明	評議員	令和4年5月10日	一身上の都合により辞任
久保田倫生	評議員	令和4年5月10日	一身上の都合により辞任
梅島 毅	評議員	令和4年9月30日	一身上の都合により辞任
若林 紀伸	評議員	令和4年9月30日	一身上の都合により辞任

⑤ 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	20名	4,810千円	専務理事
監事	3名	30千円	
評議員	16名	0円	
合計	39名	4,840千円	

(注) 理事及び監事の報酬限度額は、平成25年4月26日開催の第1回臨時評議員会において、理事は年額600万円以内、監事は年額30万円以内と決議されている。

(7) 職員に関する事項

(令和5年3月31日現在)

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長兼調査戦略室長	渡辺一弘	R2.4.1	事務局統括	重要な使用人
事業推進本部長 CMO 兼プロモーション部長	岩崎昌登	R3.4.1	事業推進本部及び プロモーション部統括	プロパー職員 (マーケティング責任者)
総務部長	石原敦子	H30.4.1	総務部統括	プロパー職員
総務部 主任	山本達郎	R3.4.1	総務	プロパー職員
調査戦略室 主幹	鈴木新一郎	R3.4.1	調査分析／戦略策定	静岡市から出向
調査戦略室 主任	瀬戸脇創太	R4.12.1	調査分析／戦略策定	プロパー職員
プロモーション部 主幹	石田太一郎	R3.4.1	プロモーション／MICE	プロパー職員
プロモーション部 主任	小代田卓宏	R5.2.1	プロモーション／MICE	プロパー職員
地域連携部長兼清水事務所長	杉山美樹江	R3.4.1	地域連携部・清水事務所統括	プロパー職員
地域連携部 課長	小林洋子	R3.4.1	観光振興事業	プロパー職員

(注) その他、主事3名、嘱託1名、企業出向2名、パート10名

2 事業の状況

(1) 事業の経過及びその成果

令和4年は、各国の行動制限の緩和や入国制限の撤廃など、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた動きが見え出した一方で、ロシアとウクライナの軍事衝突や、それを一因とする物価の高騰や、1ドル＝140円台となった急速な円安の進行などに加え、安倍晋三元首相銃撃事件が発生するなど、世界の政治経済体制において波乱の年となりました。

このような状況の中、当財団のミッションである「静岡県中部地域の観光産業振興により、来訪者の人数・消費単価の拡大を図り、住民の豊かな暮らしの実現に貢献する。」に向け、将来的なあるべき姿として、5市2町における「観光シンクタンク」と「地域のつなぎ役・まとめ役」機能を持つ観光マーケティングのプロフェッショナルを目指すため、中部地域への「来訪者調査」、観光関連事業所の受入環境や経営方針に関する「実態調査」、コロナ禍の景況感や経営状況を測る「景況調査」を実施し、継続的な地域の現況の把握に努めました。

また、地域の課題である認知度向上に向けて、一貫したコンセプトに基づいた情報提供、SNS 運用による関心の喚起、深化、個別事業での広告展開やパブリシティの獲得による露出の増加を通じて、観光目的地としてのマーケティング活動(観光需要づくり)を推進しました。

Learn、Tea、Sea については、「MANAVIVA!」の継続的な実施、島田市に2か所目の「ティーテラス」の新規設置、夏に「茶氷フェス」の開催、「勝魚かつ」は今年度も合格祈願キャンペーンを展開するなど、継続的かつ積極的に実施してまいりました。

MICE 事業としては、昨年度に引き続きオンラインで開催されたバーチャル商談会に積極的に参加し、継続的なコミュニケーション及び情報交換を行いました。また、観光庁「コンベンションビューロー支援事業」の支援対象都市に選定され、国際会議誘致のための研修を受講するとともにタグラインを作成し、国際会議誘致セールスのためのデジタルパンフレットも作成し、誘致体制の強化を実施しました。

静岡市観光振興事業につきましては、昨年度に引き続き集客が期待できる長野県と山梨県エリアにおいて、交流都市などで開催される観光展への出展や、新聞等マスメディアを活用した宣伝活動の実施や、昨年度からの継続事業として、音声ガイドを聞きながら中部地域の東海道を巡る非接触型観光の普及促進に努めました。

公益目的事業

1 DMO事業

経営計画に基づく KPI		
	令和4年度(目標値)	令和4年度(実績)
目的地想起率	0.08%	—
宿泊客数	2,880 千人泊	調査集計中
宿泊客消費単価	29,000 円	調査集計中
宿泊観光経済	83,532 百万円	調査集計中
観光地域づくり法人(DMO)の登録要件である必須 KPI		
	令和4年度(目標値)	令和4年度(実績)
旅行消費額	1,090 億円	調査集計中
延べ宿泊者数	2,400 千人	調査集計中
来訪者満足度	42.0%	調査集計中
リピーター率	67.0%	調査集計中

(1) 調査分析・戦略策定

【目的・概要】

静岡県中部地域の観光関連施策・事業が戦略的に実施・展開されるよう、国、県、その他関係機関が公表する観光関連データを集約・整理するとともに、不足するデータについては、行政や観光関連事業者と連携して自ら収集・分析を行う。

また、行政や観光関連事業者などステークホルダーが抱える個別課題について、観光関連データの詳細分析等を通じて支援するほか、地域内の情報共有を促し、市町間・事業者間の連携を後押しすることにより、地域一体となって施策・事業が展開されるよう努める。

【年度 KPI】

- 「するが観光レポート」の作成(更新)、公表
- 「来訪者調査」、「事業者景況調査」等の独自調査の実施、公表

【当期間の活動及び成果】

① 観光客・観光事業者基礎調査

ア するが観光レポート

行政や観光関連事業者が施策・事業を検討する際の参考資料となるよう、観光庁など様々な機関から公表されるデータを集約し、令和4年9月に当財団 HP で公表した。

また、令和5年1月には、最新データを反映した更新版を公表した。今後、年3回程度の頻度で最新データを反映しつつ、利用者からの意見・要望を踏まえて内容の充実に努める。

イ 来訪者調査

令和4年度の来訪者に対するアンケート調査を令和4年4月23日(土)から開始した。当年度は、「WEB回答への一本化」、「調査期間の通年化」など調査方法を改善するとともに、調査スポットを8か所追加するなど調査体制を強化した結果、年間で 13,851 サンプルを確保した。

調査結果は、四半期ごとに集計速報として当財団 HP で公表したほか、同じく四半期ごとに調査スポット別の集計結果を全施設にそれぞれフィードバックした。

ウ 景況調査

令和3年6月分から開始した観光関連事業者の景況調査を引き続き月1回の頻度で実施した。(回収率の改善に向けた調査票発送先の見直しも実施)

また、5市2町連絡会等において、物価高騰、新型コロナウイルス、自然災害等の影響の現れなどを共有し、施策検討における調査結果の活用を図った。

エ 外部評価会議

DMO事業の取組状況を専門的かつ客観的な視点から評価するため、外部有識者による評価会議を令和4年5月10日(火)に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で行った。Tea 事業が高い評価を得た一方、調査分析事業、Learn 事業、Sea 事業などでは改善の余地や更なる発展の可能性が示され、合わせて具体的な方策案も提言していただいた。

令和4年度の取組状況に関する外部評価会議は現在調整中。

② ステークホルダーマネジメント

ア 5市2町連絡会

市町観光部局との情報共有や意見交換の場として、四半期に一度連絡会を開催した。

連絡会では、DMO事業の取組状況の報告のほか、コロナ禍や自然災害、物価高騰の影響とその対応等に関する情報交換を行い、5市2町の連携強化を図った。

イ 事業者向けセミナー等の開催

令和4年度は、観光分野におけるDXの重要性が高まっていることを踏まえ、Google ビジネスプロフィールの活用促進(当地域の利用割合は現状30%程度)をテーマとするオンラインセミ

ナーを開催した。セミナーには 37 名の申込があり、セミナー後のアンケートでは上級機能(データ閲覧、投稿機能の活用、口コミ返信など)の活用意識が向上するなど一定の効果が得られた。

ウ 観光庁「地域一体となった宿泊施設のDX人材育成に向けたアドバイザー派遣事業」

梅ヶ島温泉郷の宿泊施設と連携し申請、採択を得た。WEBサイト分析ツール(Google アナリティクス)、Google ビジネスプロフィール、SNS などについて、オンラインセミナーを令和5年2月に集中的に開催し、宿泊業の生産性・収益性向上に向けて、デジタルツールへの理解を深めた。

エ 観光庁「令和4年度 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」

静岡市ホテル旅館協同組合と連携し、静岡駅周辺を対象エリアとして申請、採択を得た。

(対象施設 19 施設、総事業費 約8.8億円、補助金額 約4.5億円)

オ 観光庁「令和5年度 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」

市内全域を対象エリアとして第1回審査会に申請を行った。

(対象施設 49 施設、総事業費 約28.0億円、補助金額 約13.8億円)

(2) デスティネーションマーケティング/プロモーション

当地域の課題である認知度向上に向けて、一貫したコンセプトに基づいた情報提供、SNS 運用による関心の喚起、深化、個別事業での広告展開やパブリシティの獲得による露出の増加を通じて、観光目的地としてのマーケティング活動(観光需要づくり)を推進する。

- ・お茶の多様性のある地域
- ・日本一深い駿河湾の恵みとそれを享受する暮らし
- ・今川・徳川から続く伝統工芸/文化/歴史

① するが地域 WEB サイト「VISIT SURUGA ~boundless green~」

・Instagram「visit_suruga.jp(tw)」 ※KPI

当地域の課題である認知度向上に向けて、行政区域ごとではなく、お茶や歴史などのテーマごとに観光情報を集約、一元化する多言語ポータルサイト「VISIT SURUGA ~boundless green~」の管理、運営を行う。また、公式 Instagram「visit_suruga.jp(tw)」に

		R4 目標	R4 実績
WEB サイト	PV 数	20,000PV	33,911PV
Instagram	#visitsuruga 利用件数	100 件	361件
	WEB サイト への流入数	30 回	126回
	エンゲージメント率	8%	9.61%

て、当局のテーマ性のある地域ブランディング活動に沿った公式スポット、体験等を紹介し、当ポータルサイトに誘導させる。

※エンゲージメント率…エンゲージメント数÷インプレッション数

エンゲージメント数…投稿に対するいいね!、コメント、シェア、保存などのリアクション数の合計

インプレッション数…投稿が SNS ユーザーに表示された回数

【当期間の活動及び成果】

Instagram「visit_suruga.jp(tw)」は、定期的及び継続した発信に努め、ペルソナ(インスタグラムのキャラクター設定)の確立を目指し運用している。

当期間においては、多言語ポータルサイト「VISIT SURUGA ~boundless green~」と連動したコンテンツ・ストック素材を中心に発信した。

拡散力の指標とされるハッシュタグの利用件数も、順調な伸びを記録した。

エンゲージメント率についても、母数(投稿数やフォロワー)が増えても、目標数値を越えている。

② SNS(Instagram)「suruga_traveler<するとら>」 ※KPI

Instagram でインスタジェニックな、地元の旬の話題、するがエリアの情報等「旅への決心につながる環境づくり」と「行きたくなるコンテンツ紹介を行う。また、エンゲージ率を維持しつつ、各市町と連携した情報発信を行い、圏域内の周遊促進につながる、訪れたくなるコンテンツ紹介を目指す。

	R4 目標	R4 実績
フォロワー数	17,500	16,556
投稿件数	50	185※1
いいね!件数	40,000	44,054
保存件数	2,000	1676
エンゲージメント率	5.0%	6.32%

【当期間の活動及び成果】

※1 フィード投稿 80回、ストーリーズ投稿105回

過去には活用されていなかったストーリーズ投稿を積極的に使用し、即効性のある、各市町のイベント情報の発信を行った。

今年度から KPI に加えた、保存数とエンゲージメント率については、よりフォロワーとの密な関係性の重視や、旅への決心につながったという成果指標であるが、地元の旬の話題(花や茶氷)は、特に高い反応があり、保存数も順調な伸びを示した。

令和2年度～令和3年5月まで一時的に投稿が低迷し、エンゲージメント数が大幅に減少したが、現在は、安定的な更新及びフォロワーとのコミュニケーションの充実により、エンゲージメントの回復が見られている。

③ 旅先候補に挙がる環境づくり

ア 7月 10 日～11 日、メディアとネットワークを持つライターを招聘し、取材を実施。その後、30～40 代女性をターゲットとした WEB マガジンで記事を掲載した。

媒体名	媒体概要	掲載時期	ボリューム
All About	<ul style="list-style-type: none"> ・生活総合情報サイト ・20 年の歴史を持つ、約 900 名の専門家が解説・発信するニュースサイト ・読者層は、25～44 歳までの男女 ・月間利用者数/約 2,000 万人 	R4.8.3	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB 記事 1 回 ・Twitter 発信 2 回 (ティーテラス内容含む)
Risvel	<ul style="list-style-type: none"> ・旅の総合情報サイト ・海外旅行好きのメディアとして 10 年前に開設したが、近年は国内旅行情報も充実 ・経験豊かなライターが執筆し、読み物(旅行者視点での体験記)としてのクオリティーが高い ・読者層は、は 39～49 歳までの有職女性 ・月間 PV / 約 110,000 ～ 140,000、月間 UU / 60,000UU 以上 	R4.9.5 R4.9.6 R4.9.9 R4.9.12 R4.9.14	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB 記事 5 連載 (1 回はティーテラス)
TABIZIN	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイル系ウェブメディア ・「旅の情報を通して、日常に旅心をもてるようなライフスタイルを提案」がコンセプト ・「エキサイト」、「ヤフーニュース」、「msn」、「ameba ニュース」などに外部配信 ・月間平均 PV / 約 5,500,000、月間平均 UU / 約 3,200,000UU 月間利用者数/約 100 万人 	R4.11.2 R5.1.10	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB 記事 2 回 (1 回はティーテラス)

大人のおしゃれ手帖	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月7日発売、全国の書店、コンビニエンスストアで販売 ・発行部数／70,125部 ・ボリュームゾーンは40～49歳36.8%、50～59歳50.6%。 ・配本地は「関東31.5%、中部19.2%、近畿13.1%。 ・生活感度が高く、生活の快適さを求めている層。 	R5.3.7	・紙媒体 カラー4ページ
トラベルボイス	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝1回(土日、祝祭日を除く)配信されるニュースサービス ・月間120万人＝観光産業ニュースサイトとしては読者数No.1 ・ユーザー数：1,200,000UU/月 ・閲覧数：2,400,000PV/月 ・ユーザー層：旅行会社、ツアーオペレーター、在日観光局、DMO・自治体、観光機関、航空・空港、交通機関、宿泊機関、ITソリューション事業、集客施設、自治体・観光協会、添乗員・ガイド従事者、その他、旅行・観光ビジネスに従事する人々 	R5.2.11 R5.2.19 R5.3.5	・WEB記事3回
広報さっぽろ(東区版)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日発行 ・発行部数／約107万部(東区版 約14.4万部) ・札幌市内の全世帯にポスティング配布されている ・毎月、おでかけ、子育て、グルメ、健康等をテーマに特集ページが組まれている。 	R5.3.1	・紙媒体 カラー1/2ページ
インフルエンサー	<ul style="list-style-type: none"> ・10月23日開催「世界お茶まつり2022」にあわせてインフルエンサー2名を招聘 ・抹茶書、お茶ヨガ体験のほか、静波スウィングビーチでのティーペアリング、森木農園、玉露の里などを訪問 ①佐藤匠 <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション系インフルエンサー、人気雑誌「Classy」のウェブでも連載をもち、影響力が大きい ・令和4年10月からGooglePixelのテレビコマーシャルに出演 ・フォロワー3.9万人 ②鈴木詩織 <ul style="list-style-type: none"> ・人気雑誌「Classy」のモデル兼ファッションコーディネーターとして活躍 ・佐藤匠さんと仲の良い友人 ・フォロワー2.7万人 	①佐藤匠 R4.10.26 R4.10.27 R4.10.28 R4.10.29 ②鈴木詩織 R4.10.27 R4.10.28 R4.10.28 R4.10.29	投稿8回 ストーリーズ29回

情報発信

令和3年10月23日開催「世界お茶まつり2022」にあわせてインフルエンサー2名を招聘。抹茶書、お茶ヨガ体験のほか、静波スウィングビーチでのティーペアリング、森木農園、玉露の里などを訪問。SNSによる発信を行った。



インフルエンサー①佐藤匠

ファッション系インフルエンサー。人気雑誌「Clas sy」のウェブでも連載をもち、影響力が大きい。

令和4年10月からGoogleピクセルのテレビコマーシャルに出演。

31歳。フォロワー3.9万人。

HELLO_TAKUMI



として磨き上げ、アドベンチャーツーリズムで繋げることで、サステナブルな地域観光を目指す。その発想の源には、地域が抱える課題があった。

低迷するお茶産業に観光の切り口を

DMOが磨き上げたツアーを体験してみた、静岡・駿河地域の「お茶物語」をサイクリングでめぐる旅

2023年02月19日

静岡のお茶農家で高付加価値体験、行政とのタグで生まれた有料の観光素材、その活動に寄せる思いを聞いてみた

2023年03月05日

静岡県中部地域の観光を推進する地域連携DMO「するが企画観光局」は、駿河地域のキラコンテンツである「お茶」とサステナブルな「サイクリング」を組み合わせたツアーを企画した。今春にも地元旅行会社が販売・旅行を始める予定だ。参加者が自身のロードバイクで走るツアーとスポーツ電動自転車(e-bike)を活用したツアーの2商品。お茶農園を自転車で巡り、本物のお茶を味わいながら、静岡の風土をまるごと感じる旅を2日間、ライトなe-bikeで体験してみた。



静岡県安曇川流域に広がる本山(ほんやま)地区は、南アルプスからの伏流水や山霧、すり鉢状の急斜面など独特の風土を生かしたお茶づくりが盛んだ。その歴史はおおよそ800年。「御用茶」として徳川家にも献上され、家康も愛飲した言われている。その本山地区で9代続く森内茶農園は、数々の茶品評会で高い評価を受けてきた。一方で、お茶ツーリズムのパイオニア的存在で、お茶の飲み比べ体験やお茶畑ツアーなどを観光客に提供している。由緒ある茶農家が観光に携わる理由と取組みを取材した。



1日目: カフェから富士見の茶園、夜はティーペアリング

「お茶ツーリズム」の始まり



近くて便利! 丘珠空港から、春の旅

お出かけ日和が増えるこの季節、近くで便利な丘珠空港を利用して、旅に出ませんか? 今月は、道内の観光地周辺の観光スポットやグルメについて、地元ならではの「春のおススメ」を教えてまいります!

札幌丘珠空港
東区丘珠町にある「札幌の空の玄関口」。道内外各空港と定期便で結ばれており、札幌と道内外を結ぶ航空ネットワークの拠点として重要な役割を担っています。

✕就航先
◆道外: 三沢(八戸)、松本、静岡
◆道内: 札幌、女満別、奥尻、網走、函館
※松本、静岡との定期便は夏ダイヤ期間(2023年は3月26日~10月28日)のみ運航。

✕アクセス
【バス】地下鉄東豊線東町駅から約5分、地下鉄南北線麻生駅から約15分、札幌駅から約30分(札幌駅と結ぶ空港連絡バスは夏季のみ)
【車】札幌駅から約20分、地下鉄東豊線東町駅から約5分

信州まつもと空港

丘珠空港から ✕1時間 40分
長野県のほぼ中央に位置する松本市にある空港。松本バスターミナルまで空港連絡バスで約30分。
観光情報については、信州まつもと空港地元利用促進協議会HP(右記QR)をご覧ください。

春のおすすめスポット
安曇野サイクリング→
雄大な空を渡る人々を魅了する北アルプス。その裾に広がる海らぎな水で満ちた自然豊かな安曇野で、一面に広がる田舎風景を楽しみながらのんびりサイクリングがおすすめ。

立山黒部アルペンルート
雪山と緑野を結ぶ、標高3000m級の峰々が連なる北アルプスを貫く世界最長の高原ルート。春には20mに及ぶ雪の壁を間近で見る事ができる「雪の大谷」がおすすめ。

松本 MATSUMOTO

信州まつもと空港地元利用促進協議会がおすすめ!

春の絶景
松本城
国宝「松本城」は、保存する五重八階の天守の中で日本最大。天守建物は、壁面の一部を白漆喰。下部を黒漆喰の2層階を備えています。黒と白のコントラストが浮城アルプスの山に映えて見事な景観!

春のグルメ
とうじ千ぼろ
善通寺に古くから伝わる郷土料理の「とうじ千ぼろ」とは、凍らせたそばを「とうじ」に入れ、鴨の山菜や葱などが入った鍋、きつねとくわらばいでお召し上がり。

4-お刺身
信州の郷土料理として長野県内で広く食べられています。お中身の具材も時代や個人差、季節ごとの旬の野菜などさまざま。美しい盛り付けにリゾーリエーションが豪華。

三沢 MISAWA

VISIT はのへ〜三沢市観光協会がおすすめ!

三沢空港 丘珠空港から ✕1時間
青森県南東部に位置する三沢市にある空港。空港連絡バスで三沢市内まで8分、八戸市内まで約55分。
観光情報については、三沢市観光協会HPや、VISIT はのへHPをご覧ください。

春の絶景
三沢市
陸奥地方の東北に位置し、つるつるの繁華地帯として国の天然記念地に指定されています。9月からは日本でのみならず、海外からも訪れる観光客が訪れます。5月には桜の花が咲き誇ります。

春のおすすめスポット
道の駅みさわ 高瀬源記念観光村
日本の長閑な風景を再現した元食津藩士「藤澤寅三」に関する資料や、当時の様子を見学した施設があります。寅三の住居兼書斎を再現した建物「六十九郎亭」の前では、寅三の足跡が再現されています。

春のグルメ
ハブさしり
八戸市内の食材を使用し、肉を柔らかくし、香ばしさを増した刺身は、取り回しが楽で美味しい。お肉の旨味を堪能してください。

1-桜肉(馬肉)
馬肉の赤身が桜の花を模したから馬肉と名付けられています。長年、馬肉と野菜を堪能して来た観光客は、馬肉が大好きです!

ひがし3 2023 春のおススメ

静岡 SHIZUOKA

富士山静岡空港 丘珠空港から ✕1時間 55分
静岡市のほぼ中央、牧之野市と島田市にある空港。静岡市まで車で約40分。
観光情報については、静岡市観光局HPやInstagram、HPやインスタグラムをご覧ください。

春の絶景
ティーテラス市之瀬
市之瀬の茶畑に広がるティーテラス(春は新茶の緑が美しく、ピクニック気分が楽しめる)を楽しむことができます。

日本平干
新緑した山を背景に、眼下に見える静岡湾はまさに絶景。春には山道に続く道で「お茶の道」を楽しむことができます。お茶の道(大井川)で「お茶の道」を楽しむことができます。日本平ロープウェイで5分!

春のおすすめスポット
大井川街道
大井川沿い、おだかな風情の中を走る列車。茶畑の景色や、毎年のトンネルなどを堪能することができます。春は桜も咲き、夜はライトアップされたお茶の道もおすすめです。

千代のみすずめ
新茶の中に立つ、抹茶が一本、毎年のイベントとして行われます。春は桜も咲き、夜はライトアップされたお茶の道もおすすめです。

春のグルメ
いちご狩り
数百年続いた久能町産地は、有名な「いちご海軍通り」。山の斜面にビニールハウスが立ち並び、1〜5月にかけていちご狩りを楽しむことができます。

1-梅えび
日本で唯一、静岡県だけ産れる梅えび。春は、梅とえびの2色が、静岡ならではの春の味です。

ひがし2 2023 春のおススメ

情報発信 令和3年10月23日開催「世界お茶まつり」にあわせてインフルエンサー2名を招聘。SNSによる発信を行った。

インフルエンサー②鈴木詩織

人気雑誌「CLASSY」のモデル兼ファッションコーディネーターとして活躍。32歳。フォロワー2.7万人。佐藤 匠さんと仲の良い友人。

Instagram: @SHIORINO802SUZUKI

- ・メディア露出や旅行会社等への提供する画像のストックを充実させるため、域内にて撮影、取材を行った。
- ・春「新茶」をテーマとし、当財団のポジショニングを意識して(マーケットと埋もれている地域資源を繋ぐ役割)、取材先は、ご自身で体験を実施している茶農家を中心に行った。
- ・夏「自然」をテーマとして、お茶コンテンツ+αの回遊先となりえる、「川(大井川)」エリアの撮影を行った。
- ・秋大井川流域等の「紅葉」を予定していたが、台風被害のため延期した。
- ・冬メディア取材受入時に合わせて、取材先の撮影を行った。



ウ 静岡県在外事務所長及び職員へのオリエンテーションの実施(静岡県観光協会事業へ協力)
 ・静岡県観光協会は、静岡県在外事務所(中国・上海、韓国・ソウル、台湾・台北、シンガポール)と連携し、インバウンド観光客誘致を行っている。

・コロナ禍で、在外事務所職員の訪日や相互交流ができていないことから、観光情報の提供等を行い、当財団に代わって現地市場へマーケティング活動をしていただける可能性があることから、コロナ禍の旅に適したコンテンツや、新規開業施設、DMOとして訴求している事等をオリエンテーションした。

エ 静岡県在外事務所長及び職員へのオリエンテーションの実施(静岡県観光協会事業へ協力)

・コロナ禍で、在外事務所職員の訪日や相互交流ができていないことから、観光情報の提供等を行い、当財団に代わって現地市場へマーケティング活動をしていただける可能性があることから、インバウンド誘致における連携パートナーである静岡県観光協会が契約している、在外マーケティング事務所(米・豪)に対し、コロナ禍の旅に適したコンテンツや、AT商品、DMOとして訴求している事等をオリエンテーションした。

④ 行きたくなる商品企画・開発・磨き上げ

ア 支援先: 抹茶書・松蘭先生(静岡市)

・支援内容: 書道文化(抹茶書)の普及を図るため、「(仮称)抹茶書スターターキット」の販売を検討しており、キットに盛り込む、書用の抹茶、抹茶を溶く器、文鎮等の仕入先のマッチングを希望。

・紹介先: Matcha Organic Japan(島田市、茶生産者)

製造過程で出る、商品にならない抹茶の活用をご提案いただいた。

志戸呂焼・彦次窯(ひこじがま)(島田市、志戸呂焼)

茶道と縁のある伝統工芸。商品数点の借用と抹茶を溶く器や文鎮の試作品を制作いただくことになった。

マルジョウむらかみ園、いはち農園(静岡市、茶農家)

抹茶書の普及に向けて、お茶に関する理解を深めるため、静岡市内の茶農家を訪問した。今後、生徒達を連れた茶農家ツアーの実施も検討。

・販売決定:茶農家とのネットワークがあり旅行手配ができる、株式会社FIEJAが、静岡県 Chaoi 補助金を使い、商品化。

9月末～トライアルで販売開始。当財団及び静岡県茶業会議所の協力で、世界お茶まつり会場でのワークショップと販売予約を実施済。



マルジョウむらかみ園 (静岡市清水区)



抹茶書キット



松蘭先生のHP



FIEJAのHP

イ 支援先:「静波リゾートホテル スウィングビーチ」

・「静波リゾートホテル スウィングビーチ」と「カネ十農園」をマッチングし、お茶とフレンチディナーのペアリングメニュー開発を支援・コーチングを実施した。

・現在は、両社で、今後の方向性や販売方法を検討中。



ウ 支援先:静岡県茶業会議所主催「お茶とマインドフルネス」企画への協力

・世界お茶まつりの機会を活かした商品企画とブランディング推進

・様々な形でお茶の認知度及び消費喚起を企画している静岡県茶業会議所から、「お茶とマインドフルネス」という企画への参画打診があった。

・静岡の恵の香りとともに お茶×ヨガ

ヨガ講師:SAE YOGA(島田市) / 香り:銀の山(島田市) / お茶:山関園製茶(島田市) /

設え:グリーンディスプレイ(静岡市の放棄茶園の茶の木) / 茶器 吉村(焼津市)

・マイボトルで水出し茶づくり→好きな香りを選びアロマ調合→ヨガ→暖かいお茶を自分で淹れて整える→アロマ受け取り→終了

・世界お茶まつりの機会を活かした商品企画とブランディング推進

書道家:松蘭(静岡市) / 抹茶:Matcha Organic Japan(島田市) /

設え:グリーンディスプレイ(静岡市の放棄茶園の茶の木)

書の基本練習と抹茶書についてのお話し→抹茶書練習→先生の添削→清書→終了



エ 国内上質なお客様を顧客とする旅行会社招聘ファムトリップとファムトリップを通じた商品企画と磨き上げ

会社名	訪問者名
株式会社 Loco Partners	カスタマーファースト推進部 加賀見 修
株式会社JTB ロイヤルロード銀座本店	企画販売部 上田 久美子
株式会社 三越伊勢丹ニッコウトラベル	国内企画担当 原田 知美

日程		日次	月日曜	行程	食事
	1	9/29	(木)	静岡駅 ——— ティーテラス市之瀬 ——— 玉露の里 ——— マルヒデ岩崎製茶 ——— 静岡駅 9:00 10:00 11:30 12:15 15:00 15:30 昼食(13:00~玉露茶と抹茶書体験) (合組体験) 夕食(駿河湾の幸とのティーペアリング) ホテル ——— 覚弥別荘 …………… ホテル 17:15 18:15 18:30 20:30 21:00頃	朝:X 昼:O 夕:O
				ホテル ——— 焼津・小川港 ——— 志戸呂焼 彦治窯 ——— 駿府匠宿 ——— ホテル 5:45 6:30 7:30 9:30 11:30 12:30 15:00 昼食(13:30~茶染め体験) 日本平・久能山東照宮 ——— 静岡駅 15:30 17:00	朝:O 昼:O 夕:X

オ ファムトリップを通じた既存コンテンツの磨き上げと新規コンテンツの開発

- ・ティーペアリングで静岡&駿河会席体験
- ・馳走百年 覚弥別荘
- ・日本茶の栽培、消費量ともにトップクラスを誇る、静岡県。日本一高い富士山と日本一深い駿河湾をのぞむ自然豊かな地で育ったお茶の新たな楽しみ方が「ティーペアリング」。季節の食材のコース料理と茶師が淹れるお茶のペアリング。前菜からデザートまでそれぞれの料理に合わせてその場で茶師がお茶を淹れる。



- ・「玉露の里」における抹茶書体験
- ・Matcha Organic Japan の未利用抹茶を使用した、抹茶書®と抹茶書の体験
- ・茶室の新しい活用として、抹茶を点てるのではなく、抹茶で書道を楽しむことを目的にコンテンツを開発
- ・茶室独特の静寂で厳かな雰囲気と集中力を必要とする書道がマッチ
- ・今後は玉露の里が販売する商品として販売方法・受入体制を調整していく



カ 静中連(静岡県中部地区観光連絡協議会)と連携した、旅行会社ファミトリップ及びセールスキャラバンの実施

事業内容 静中連(静岡県中部観光連絡協議会)と連携した、旅行会社ファミトリップ及びセールスキャラバンの実施

概要 団体客の誘致拡大に向けて、B2Bのネットワークと営業力に優れた静中連と連携し、大河ドラマの放送効果を中部地域全体に波及させるため、旅行会社のファミトリップとセールスキャラバン、フォローアップのセールススクールを実施した。

内容

- (1) ファミトリップ 2月2日 静中連とネットワークのある旅行社10社11名を受け入れた。
- (2) セールスキャラバン
 - 2月20日～21日 関西方面 22社訪問
 - 2月28日～3月2日 中京方面 31社訪問
 - 2月28日～3月1日 長野方面 35社訪問
 - 3月9日～10日 東京方面 21社訪問
 - 3月15日 山梨方面 16社訪問
- (3) フォローアップセールススクール
 - 2月8日～9日 愛知県 16社訪問
 - 2月14日～15日 埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県 計12社訪問
 - 2月20日 東武トップツアーズ主催商談会参加 25社商談
 - 2月21日～22日 山梨県、東京都多摩地区、神奈川県 計31社訪問
 - 2月22日 日本旅行主催商談会参加 20社商談
 - 3月7日 JTB中誘協主催商談会参加 10社商談
 - 3月13日～15日 京都府、大阪府、兵庫県 36社訪問
 - 3月20日 長野県 10社訪問
- (4) 大河ドラマ館、静岡市歴史博物館等、大河ドラマに関連する場所を含めたモデルコースの作成とパンフレットを作成
- (5) パンフレットと連動する静中連ホームページの改修

追加


5社計170本のツアー設定確定
※3月31日時点

ファミトリップ参加旅行社	地域	参加人数	会社名
	愛知	1	名阪近鉄旅行株式会社
	愛知	1	豊鉄観光バス株式会社
	愛知	1	株式会社エイチ・アイ・エス
	東京	2	株式会社エイチ・アイ・エス
	東京	1	クラブツーリズム株式会社
	東京	1	株式会社はとバス
	東京	1	株式会社阪急交通社
	東京	1	株式会社オリオンツアー
	静岡	1	遠州鉄道株式会社
	静岡	1	伊豆箱根バス株式会社

パンフレット



ウェブサイト



※ 引き合い・支援・相談案件(補助金事業関係)

① 観光庁補助金「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」

事業内容 観光庁補助金 「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」

背景 令和3年1月末、観光庁補助事業「サステナブルな観光コンテンツ強化事業」の活用に向けて、静岡県から県内DMOに提案依頼があり、次年度に同趣旨の事業を検討していた藤枝市と連携し提案を行った。(これをモデルに、中部地域全体への展開も想定)

上記申請は不採択となったが、藤枝市の意向を踏まえて、同じく観光庁補助事業「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」への申請に向けて、計画内容を磨き上げ、採択を得た。

内容 「+Tea(プラスティー)～ちょっとした日常にTeaをプラス～」をコンセプトに据えて、「日常(食べる・飲む・作る等)に、藤枝茶に関連する様々な体験をプラス、世界で一つのオリジナルお茶体験ツアーを作る旅」をコンテンツとして開発して、旅行商品化するもの。

これまで観光コンテンツとして活用してこなかった藤枝茶を、観光要素へ変換させ、地域への来訪者増と関係人口増を図るとともに、「茶の多様性」による観光地域づくりを推進する。事業終了後の販売に向け販売体制確立や販路開拓、 프로모ーションなどを行う。

- ・朝比奈玉露の茶摘みと手揉み美味しいお茶の淹れ方体験
→ 摘んだお茶を手揉みし茶室で自分で玉露を煎れスイーツを添えて頂く贅沢体験
- ・藤枝産フルーツでオリジナル抹茶パフェ作り
→ E-Bikeに乗って、市内各地で栽培されるフルーツを収穫してコレクション!
- ・茶商監修によるお茶の合組と利き茶体験
→ テレビでよく見るお茶の合組と利き茶を体験!
仕上げた茶は世界に一つのお土産に…。

実施

8月27日(土)～28日(日)	第1回 モニターツアーを実施	9名参加
11月12日(土)～13日(日)	第2回 モニターツアーを実施	8名参加
	・当事業にて開発したコンテンツ紹介パンフレットの作成	1月下旬 納品済
	・補助金事務局主催商談会参加	1月25日-26日(オンライン) 2月9日(リアル) 計11社
	・都内旅行会社へのセールススクール	2月10日 9社

更新

利き茶体験：旅行会社4社、商品化及び販売中
ティーベアリング：旅行会社1社、商品化及び販売中
※3月31日時点
※今後はインバウンド向けに磨き上げをする予定

更新

第一回 モニターツアーの様子



第二回 モニターツアーの様子



② 観光庁補助金 「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」

事業名 するが地域伝統食材の活用による新しい食コンテンツ、Suruga Burg（するがバーグ）の開発と新たな観光誘客・消費促進事業

支援先 静岡市、焼津市、藤枝市

概要 するが域内の伝統食材、「お茶」「マグロ・未利用魚」と全国比で県内消費が大きい「ハンバーグ」を掛け合わせ「Suruga Burg(するがバーク)」を開発。新たな看板商品として継続的に販売提供して誘客、広域回遊、リピート訪問を促進する。

11月には「Suruga Burg Fes(するがバーグフェス)」を実施、事業を広くPRし持続性に重点を置いた事業に育成する。

事業費 700万円(うち補助金額 600万円)

体制 ■公益財団法人するが企画観光局 ■株式会社静鉄アド・パートナーズ

■静岡ハンバーグ王国プロジェクト ■有限会社まるか村松商店

内容 【コンテンツ1】

域内の伝統食材、「お茶」「マグロ・未利用魚」、「ハンバーグ」を掛け合わせ、新たな食コンテンツとして「Suruga Burg(するがバーグ)」を開発商品化。健康・ヘルシー・ハラルにも対応した、新たな看板商品として造成し継続的に販売提供する。

同時に各店で共通使用する紙製のオリジナルランチョンマットを制作、地域の特産品である「お茶」「マグロ」やグルメスポットなど、域内の観光回遊につながる情報を掲載、「お茶」「マグロ」を「ハンバーグ」コンテンツでPR、観光商材、旅行商品としても事業展開を後押しする。

静岡ハンバーグ王国プロジェクトと連携、ターゲットに向けて広域展開を図る。

【コンテンツ2】

毎年11月に「Suruga Burg(するがバーグ)」の新作を解禁、この時期に毎年継続して「Suruga Burg Fes(するがバーグフェス)」を実施、初年度はスタートPRと実証実験として域内各市にて効果と課題、地域の連携、回遊性、感染症対策、インバウンドへの対応準備、マネタイズについて検証。静岡ハンバーグ王国プロジェクトと連携し効果を倍増させる。

また、アンケートを実施して事業の更なる磨き上げを実施。

- ①参加店募集と商品造成、WEB・紙・回遊アプリ等制作：9月中旬～11月上旬
- ②販売開始、各種制作物の運用開始：11月中旬～1月末
- ③「Suruga Burg Fes(するがバーグフェス)」実証実験の実施：11月中旬～下旬



【看板商品名①】 するがバーグヌーヴォーの開発商品化

【商品の内容】 域内の伝統食材、「お茶」「マグロ・未利用魚」と「ハンバーグ」を掛け合わせ新たな食コンテンツとして「するがバーグ」を開発商品化した。静岡市、藤枝市、焼津市エリアの飲食店と連携して各店オリジナルの個性ある「するがバーグ」を造成～販売を開始した。

- 【成果】
1. 32店舗が参加して、オリジナルのするがバーグを造成・販売開始した
地域の伝統食材「お茶」「マグロ」の風味が引き立つ、静岡らしい「するがバーグ」が完成
 2. 商品開発が想定より難しくスケジュールが遅れたが、参加全店で販売を開始した。
…全店販売数 1,011食
 3. 事業継続に向けた課題の把握
コロナの状況で体力が弱っている飲食店は実際に売れるのかで継続を判断。
…各店に実施した2回のアンケート調査により、取組み姿勢と課題を把握。継続した支援の在り方を見極め、次年度以降の課題を抽出した。

【看板商品名②】 するがバーグ FES イベントの開催

新たに開発商品化した「するがバーグ」を広く告知、販売の場として「するがバーグ FES」を域内3市でそれぞれ実施(計3回)、多くの来場者に「するがバーグ」を認知する事ができた。

- 【成果】 事業エリアである静岡市・藤枝市・焼津市の3ヶ所で市民への理解促進を目的とした PR イベントを実施してするがバーグの理解を促進、メディアへの露出に成功した。
…テレビ、ラジオ番組局出演5回、日本経済新聞取材1件



③ 静岡県委託事業「令和4年度 しずおかサステナブルツーリズムモデルツアー造成事業」

事業内容

静岡県委託事業 「令和4年度 しずおかサステナブルツーリズムモデルツアー造成事業」

更新

- 背景** 前述の観光庁事業採択後、静岡県から、再度、サステナブルツーリズムを推進するために、別の形で実施したいとの事で、再度アイデア出しを求められた。
当初の藤枝市で実施するモデル事業は採択されたため、その代替案として、圏域各所の「お茶コンテンツ」を活用し、環境負荷の少ない「自転車」を使用し、周遊・回遊するモデルツアー実証事業を提案し、県から承認された。
- 内容** 基本方針として、するが地域のサステナブルな将来のため、質の高い暮らしと地域の豊かさの持続への貢献を目標に、環境負荷が低く、健康的、地域/生活/文化/地元住民/地産地消にアクセスしやすかつグローバルレベルのツーリズム体験とオリンピックレガシーを活かした、E-Bikeとアドベンチャーサイクリングの旅を手段として、事業に取り組んだ。
- 既存の「お茶コンテンツ（茶農家の訪問、お茶カフェ等）」が、市外から山間部まで点在しているため、それらを繋ぎ、回遊することで、より地域へ深く入ることができる仕組みづくりを、環境負荷の少ない「自転車」を使用し、コースの企画・開発とモデルツアーを実施した。
- 前述の藤枝市における看板商品創出事業で企画・開発されるコンテンツについても、圏域のコンテンツとして、回遊先として含まれる。
一般旅行者で圏域を回遊するためのE-bikeと自己所有自転車を持ち込み、自然や地域ならではの体験に触れたいアドベンチャーサイクルの市場をターゲットとした。
- 予算** 6,495,500円（税含む）
- 参画** 株式会社FIEJA：伊豆や静岡市清水区で、サイクルツアーの実証事業実績あり。将来的な、E-bikeツアー販売事業者と想定。
Ride Japan cc：サイクルツーリズムの専門家Adam Cobain氏が運営する、サイクルツーリズムの専門会社。静岡県と共同で、伊豆地域でのコースづくりの実績あり。自転車とお茶を組み合わせたサステナブルツーリズムモデルコースの企画立案とアドベンチャーサイクリングの販売事業者と想定。
INDIGO Destinations：ツーリズムデスティネーションマーケティングの専門家府川尚弘氏。地域とマーケットを繋ぐ、サステナブルツーリズムの仕組みづくりを行う。

事業内容

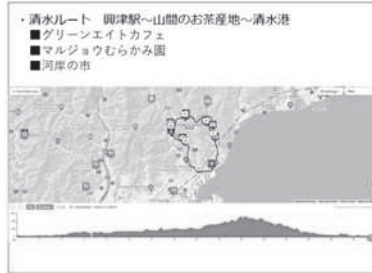
静岡県委託事業 「令和4年度 しずおかサステナブルツーリズムモデルツアー造成事業」



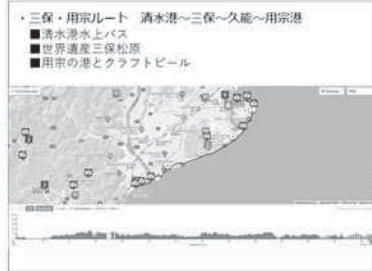
事業内容

静岡県委託事業 「令和4年度 しずおかサステナブルツーリズムモデルツアー造成事業」

E-bike



販売サイト（日本語）



販売サイト（英語）



今後の展開

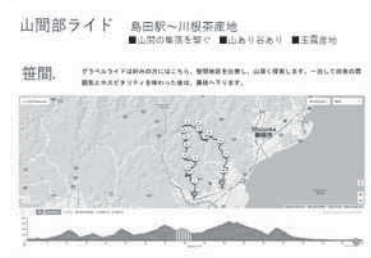
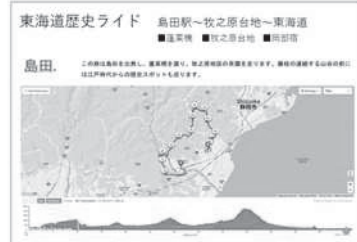
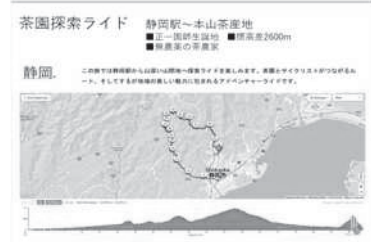
- ・国内首都圏在住の上質・本物を求める高所得者層の市場をターゲットにする。
- ・海外向け旅行商品商談会などに積極的に参加する。
- ・清水港のクルーズ向け商品企画や、するが圏域での企画を行う。

4

事業内容

静岡県委託事業 「令和4年度 しずおかサステナブルツーリズムモデルツアー造成事業」

アドベンチャーサイクル



今後の展開

- ・海外向け旅行商品商談会などに積極的に参加する。
- ・清水港のクルーズ向け商品企画や、するが圏域での企画を行う。

更新

掲載サイト



今事業では、するが地域のアドベンチャーサイクリングの魅力とコース、そしてサイクリストが得る充実感についてのプロモーションコンテンツとして設計した。ただし、個人としてツアールートを実験することは、アプリ掲載のナビゲーション情報から可能である。

アプリ
自転車専門アプリ掲載 (Ride with GPS)
・ iTunes StoreかGoogle Play Storeからダウンロード
・ ショートカットをタップし、QRを読み込む



5

事業内容

静岡県委託事業 「令和4年度 しずおかサステナブルツーリズムモデルツアー造成事業」

今後の展開 (案)

E-bike

- ・国内首都圏在住の上質・本物を求める高所得者層の市場をターゲットにする。
- ・海外向け旅行商品商談会などに積極的に参加する。
- ・天候に配慮したり、参加者の体力レベルによってコース内容の見直しをしたり、新たなコースの開発は単価が変動する可能性が高く、今回の4コースを元に試算し、適正価格を設定していく。
- ・ニーズによって柔軟な対応が必要であり、更に短時間、長時間のコースなどコース企画も積極的に実施する。
- ・清水港のクルーズ向け商品企画や、するが圏域での企画を行う。

アドベンチャーサイクル

- ・サイクリング旅行の目的地としての成功には、明確にサイクリストの評価（アクセス/施設/道路等インフラ/安全性/事例/事業例/コースの豊富さ/乗車時以外（オフバイク）のサポート/成熟度）を満たす必要があるが、当地域と実証結果から、現状、世界水準のサイクリング旅行目的地開発という視点では、まだ初期にある。
- ・茶園連受け入れ先が体験企画について知識を深め、またサイクリングに関連した付加価値を準備するためには、受け入れ先がサイクリストの期待に合った対応可能となるよう、理解向上の支援が必要である。例えば、自転車のスベア部品や給水、ツール類等、サイクリングに必要なサポートが用意されているとサイクリング市場に対する対応が進むと、サイクリストが立ち寄り、体験（企画）への参加促進につながる。
- ・サイクリングツーリズムへの取組みに興味を持つ茶園連受け入れ先とのネットワークづくりを進め、四国のお遍路のような「ティートレイル」というつながりを準備することも単なる地域訪問よりも意味ある旅の興味への引き込みとなるため、有効である。
- ・現状では、国内市場についてはイベントを含むセルフガイド型ライドにて展開。海外市場にはガイド付ツアー企画を試行する案にて準備する。

④ 世界お茶まつりの機会を活かしたブランディング推進

- ・支援先:静岡県立大学グローバル地域センター主宰
静岡茶の世界を考える懇話会世界お茶まつり会場展示ブース
- ・支援内容:展示コーナー「日本茶の変遷」内において、時代は現代、テーマはお茶ツーリズムということで、展示内容の相談があり、地域産業とツーリズムのタッチポイントという内容の展示を行った。
- ・紹介先:Green∞カフェ(静岡市、茶農家)
茶農家カフェのパイオニア。産地へ足を運んでもらいたいとの思いから、茶工場目の前にカフェを開業、繁忙期は、茶葉の搬入が目の前で見られる。
ティーテラス市之瀬(藤枝市、茶農家)
お茶に全く触れたことのないマーケットに対して、屋外体験の場として、テラスを設置。テラス利用には、お茶とお茶菓子を含めることで、お茶とのタッチポイントを作った。



地域産業とツーリズムのタッチポイント
その1



グリーン∞カフェ

カフェをフックにし、お茶に触れたことのない客層を開拓。また、カフェの場所も、茶工場併設とし、自然と、生産地へ足を運ぶきっかけとし、お茶とのタッチポイントを作った。

地域産業とツーリズムのタッチポイント
その2



ティーテラス市之瀬

お茶に全く触れたことのないマーケットに対して、屋外体験の場として、テラスを設置。テラス利用には、お茶とお茶菓子を含めることで、お茶とのタッチポイントを作った。

⑤ ふじのくに茶の都ミュージアムセミナーへの協力を通じたブランディング推進

- ・支援先:ふじのくに茶の都ミュージアムセミナー「お茶を活用したガストロノミーツーリズムを探ってみよう」
- ・支援内容:ふじのくに茶の都ミュージアムにおいて開催された「お茶を活用したガストロノミーツーリズムを探ってみよう」セミナーにて、当財団賛助会員の「株式会社なすび」様と共に、スピーカーとして講演した。

世界の観光業界で「ガストロノミーツーリズム」は最もホットなキーワードの一つである。当財団の取り組みとして、テーマ性のある地域ブランディング活動である、お茶の多様性のある地域(産地、集積、体験までの一気通貫)、日本一深い駿河湾の恵みを楽しむ暮らし(豊かな海産物とマリンアクティビティ)、今川・徳川から続く伝統・文化(現代まで残る駿河〇〇という伝統工芸)という3要素の紹介を行った。

そもそも、ツーリズムとは、旅行者、旅行業者や鉄道事業者、受け入れ施設、受け入れ施設で働く地元住民、土産や食を提供する地元店が関わる、産業構造である点と、その産業構造こそが、循環・相互に関わりあう、サステナブルな産業構造である。

ガストロノミーは、美食とも訳されるが、大きなツーリズム構造の中の一要素である。



※ TDM(Tourism Destination Marketing)研修の実施

ツーリズムデスティネーションマーケティングの取組み強化に資する内容を研修のテーマに、当財団職員、5市2町行政職員及び観光協会職員に対し、下記のとおり研修を行った。

【研修内容】

1. ツーリズムマーケティング入門

ツーリズムの目的とマーケティングの機能を理解し、実践につなげる。

2. 旅行業界／観光産業基礎知識

成果につながる効果的な事業投資とマーケティング計画の考え方の基本知識への導入

3. 市場トレンド／ニーズとするが地域

地域資源の魅力と市場ニーズの組合せ、高質化・高価値化について理解

4. 商品化と地域ビジネス化

素材、魅力を商品に仕立てる必要性と流通の基本について理解する。

市場別／地域のシーズナリティの知識習得の導入

5. 戦略の考え方と DMO

ツーリズムデスティネーションマーケティング実践のための要点整理

6. 需要開拓とブランド

志を地域プラットフォーム化し、次世代の豊かさづくりを担う「するが企画観光局」という認識のきっかけづくり

【実施日】

9/20(火)、9/27(火)、10/11(火)、10/25(火)、12/5(月)、12/20(火)の全6回

※ セミナー、講演会及び研修会等での講師等依頼

ア 一般社団法人静岡青年会議所 2022 年 10 月度第一例会「人と人をつなぐために」

開催日:10月18日(火) 19:00~21:00

会 場:MIRAIE リアン コミュニティホール七間町

主 催:一般社団法人静岡青年会議所

内 容:第二部「まちの魅力の発信と交流人口、関係人口」

講演「観光マーケティングにおけるするが DMO の取り組み」

第三部 パネルディスカッション

講 師:事業推進本部長 CMO 岩崎昌登

イ にっぽんの宝物プロジェクト 静岡の宝物グランプリ 2022-2023

開催日:1月17日(火)~18日(水)

会 場:エスパルスドリームプラザ

主 催:しずてつジャストライン株式会社

内 容:1日目:ツアー審査、2日目:プレゼンテーション審査

審査員:事業推進本部長 CMO 岩崎昌登

(3) Learn、Tea、Sea

地域連携 DMO として策定した「Learn、Tea、Sea」戦略について、民間事業者を活用し、GW や夏休み、新茶シーズン等、需要期の効率的なプロモーションや、リピートを活性化させるための施策、SNS 発信によるブランド力の向上を図るとともに、コンテンツの開発・磨き上げ、参画事業者の拡大、周遊促進を図る。

① Learn

【目的・概要】

※KPI

Learn 戦略のコンテンツ「MANAVIVA!」に関して、事業者と連携した商品造成、及び県内外へのプロモーションを実施し、その認知、興味・関心を高め、静岡県中部地域全体の観光目的地としてのブランド価値を高めることを目的とする。

	R4 目標	R4 実績
体験人数	2,000 人	517人
売上	1,000 万円	245万円

【当期間の活動及び成果】

夏休み需要期に合わせ、7月に静岡県中部地域5市2町の公立小学校や各関係団体に対して、約7万部の夏号のチラシを配布し、新規登録者の獲得と春休み期間中の利用拡大に努め3月にも春号を発送した。

新規商品開発は、今年度末までに、5市2町のエリアで、合計10件の新規開発を完了した。プログラム事業者の繋がりによって新たな事業者を紹介されることも多くなり、令和5年度中の新規事業開拓件数についても、すでに10件近くの事業者と調整を行っている。

利用者の利便性の向上に向けWEBサイト改修に取り組み、年内には、カレンダー検索機能ページを追加した。これにより直帰率が大幅に減少した。

また、With コロナの観点より10月より、関東圏・山梨県へのInstagram広告を再開し、フォロワーの獲得に努めている。今後もより積極的に周知を行っていく。

② Tea

ア ティーテラス(茶の間)

※KPI

Tea 戦略のコンテンツ「ティーテラス(茶の間)」に関して、受入事業の企画運営及び県内外へのプロモーションを実施し、その認知、興味関心を高めつつ、集客を促進し、静岡県中部地域全体の観光目的地としてのブランド価値を高めることを目的とする。

新規設置	R4 目標	R4 実績
施設数	3か所	2か所
体験人数	360 人	114人
売上	120 万円	34.2 万円

【当期間の活動及び成果】

・令和4年3月末に完成した「ティーテラス市之瀬(藤枝市)」の受け入れ実績は114人

・令和5年3月31日に島田市川根、家山に新規設置完了

・7月10日～11日、メディアとネットワークを持つライターを招聘し、取材を実施

その後、30～40代女性をターゲットとしたWEBマガジンで記事を掲載

※詳細は、P22表以下を参照

・誘致活動／静岡県観光協会と連携したAGTセールス

旅行会社向けプレゼン資料の更新に合わせて、「お茶」をテーマにした中部地域の企画を充実させるため、新設テラスや関係事業者を訪問

・企画開発／静岡県茶業会議所と連携した体験商品の開発



イ 茶水

静岡茶を使用したインスタジェニックなかき氷で「静岡県中部地域＝茶」のブランディングを推進する夏季限定キャンペーンを実施し、夏の風物詩としてのブランド定着を目指す。

また、5市2町の行政・経済界等と連携して参画店舗を増やし、地域経済へのインパクト拡大を図る。

【当期間の活動及び成果】

・店舗開発

各市町より新規候補をいただき、各市町担当者と相談しながら、候補店舗へ声掛け。一部店舗は6月初旬に訪問。期間途中に参加した店舗もあり、中部地域の最終店舗数は、既存 33、新規 19 店舗、合計 52 店舗

・情報発信

リーフレット・・・「茶氷帖」を 23,000 部制作し、各店舗のほか観光案内所や JTB 店舗などへ配架(7月中旬)

ホームページ・・・「Shizuoka Chagori 2022～茶氷はじめました。～」を更新(7月1日ローンチ) Visit SURUGA ポータルサイトと連結し、相互連携を図り、域内周遊を促し、通年での情報発信につなげる。

SNS 発信・・・7/1～9/30、するとら及び Visit SURUGA 公式 Instagram にて投稿、県内在住インスタグラマーの活用9名 26 投稿の実施

テレビ広告・・・8/25 テレビ静岡番組内にて茶氷特集の実施

パブリシティ・・・プレスリリースを2回実施

メディア媒体(紙)・・・すろーかる(7月号、8月号、9月号掲載)、Mydo(9月号掲載)

ハッシュタグキャンペーン・・・9/1～9/30 茶氷の写真とハッシュタグ #茶氷 2022 キャンペーン、#茶氷の投稿をした方へ静岡茶と茶氷オリジナルフィルターボトルをプレゼント

・販売促進

イベント開催・・・8/20(土)、21(日)「茶氷フェス」を開催

4店舗が出店し、2日間で 2,263 杯を売り上げた。

※KPI

	R4 目標	R4 実績
参画店舗	45 店(中部)	52 店(中部)
販売杯数	6 万杯	3.8 万杯

露出実績

6/29	アットエス静岡	7/18	毎日新聞(静岡版)
6/29	FM-Hi「あさラジ!@Morning」	7/21	静岡新聞
6/30	富士山経済新聞	7/21	第一テレビ「everyしずおか」
7/01	fashion press	7/21	るるぶ&more WEB版
7/01	パルシェビジョン(～7/31まで)	7/31	読売新聞(静岡版)
7/03	日本茶生活	8/01	アットエス静岡
7/08	FM-Hi「あさラジ!@Morning」	8/04	FMしみずマリンパル
7/14	ことりっぶ WEB版	8/30	アットエス静岡
7/16	中日新聞(静岡版)		



7/21(木) 静岡第一テレビ「everyしずおか」



7/31(日) 読売新聞



7/18(月) 毎日新聞



7/21(木)るるぶ&more



8/25(木)テレビ静岡「ただいまテレビ」



8/30(火)アットエス(LIFE)



7/14(木)ことりっぶ

茶水フェス

(概要) ……「駿府城夏まつりナツゲキ」に茶水店舗が出店
 (開催日時) …… 8/20(土)、21(日) 11:00～21:00
 (場所) …… 駿府城公園内
 (出店店舗) …… 4店舗
 (売上杯数) …… 2,263杯 (店舗当たり565杯、2019年比52.0%) ※参考:2019年 参加店舗10店舗で10,870杯
 (ナツゲキ来場者) …… 10万人(2019年比49.8%)
 (情報発信) …… 静岡新聞(8/1, 11, 14ほか)、SBSテレビ(8/20, 21ほか)、SBSラジオ(8/16, 21)、FMしみず(8/4)、
 テレビCM(8/3～20, 54本)、ナツゲキSNS(Twitter, Instagram, TikTok)、
 当財団Instagramするら、するらかる(8月号)



SBSテレビ「びっくりテレビ」



するらかる(8月号)



新聞広告(静岡新聞8/1)



当日会場装飾

※KPI

③ Sea

Sea 戦略のコンテンツ「勝魚かつ」は、古くから縁起物とされてきた鰹の歴史に着目し、スポーツ、受験、就活等の“必勝祈願グルメ”としてブランディングし、焼津の鰹の認知向上、消費拡大、さらには当地域への誘客促進を図る。また、「焼津ぐるめぐり」などの先行施策との相乗効果により、“一年を通じた鰹グルメの活性化”と“若年層やファミリー層などへの客層の拡大”を図る。

今年度は、昨年度実施した『勝魚かつキャンペーン』の範囲を5市2町へ拡大し、令和4年 12 月3日(土)から令和5年3月12日(日)まで開催した。

令和3年度のバイキング提供の2社を除いた13店舗の総売上数が、1,560食に対し、今年度はバイキング2社を除いた20社での総売上数は、4,476食となった。参画店舗が増えたことや県立大学との共同開発影響を受け、総売上数が前年比約290%増となった。

	R4 目標	R4 実績
参加店舗	20 店舗	22 店舗
売上数 (1店舗あたり)	610 食	224食
総売上数	9,100 食	4,476 食

※バイキング2社分の実績は除く

【当期間の活動及び成果】

参画店舗数 22 店舗

静岡県立大学 Food Labo と中島屋グランドホテルの共同開発で新メニュー『茶ちゃっと合カツ』を開発した。

この新メニューお披露目会を静岡県立大学の3年生・4年生の約 20 名を招待して、12 月 18 日(土)に中島屋グランドホテルで行った。(19 日の静岡新聞の日刊にて掲載。)

この他にも、ラジオ番組や午後のニュース番組のコーナーで紹介された。

紙面掲載は、2月号の「すろ～かる」や2月 18 日(土)には、「静岡新聞中部版」に広告を掲載した。

【テレビ放映】

- ・12 月 8 日(木) トコちゃんねる静岡内トコナビ
- ・12 月 12 日(木) テレビ静岡 ただいまテレビ内ただいまワードにて放映
- ・12 月 23 日(月) 第一テレビ news every しずおかにて放映
- ・1 月 26 日(木) トコちゃんねる静岡内トコナビ

【ラジオ出演】

- ・1 月 5 日(木) エフエムしみず
- ・1 月 25 日(水) FM-Hi!「あさラジ! @Morning 内イロドリ

【紙面掲載広告】

- ・すろ～かる 2 月号
- ・2 月 18 日(土) 静岡新聞日刊に広告掲出

【Instagram 広告】

- ・期間 2 月 24 日～3 月 12 日まで計 4 回

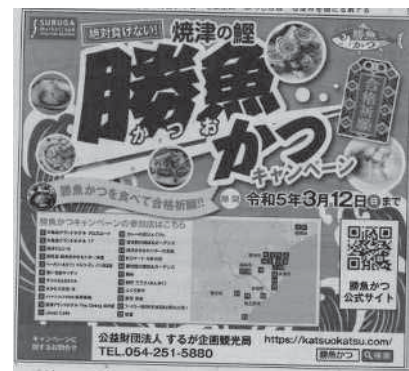
令和4年 12 月 19 日静岡新聞日刊



共同開発メニュー「茶ちゃっと合カツ」



令和5年 2 月 18 日静岡新聞日刊



(4) 教育旅行の推進

中部横断自動車道開通に伴い、山梨県や長野県からのアクセスが容易になることから、静岡県や関係各所と連携し、静岡県中部地域を目的地とする教育旅行の来訪数を増加させる。

【当期間の活動及び成果】

静岡県中部地域 5 市 2 町を対象に教育旅行を含めた大型団体の受け入れが可能な施設をまとめたパンフレットを 3,500 部制作した。静岡県中部地域の代表として旅行会社へセールスを行う際や、商談会でのセールスツールとして活用する。

※KPI

	R4 目標	R4 実績
受入学校数	30 校	—

(5) 大河ドラマ5市2町周遊促進

令和5年大河ドラマ『どうする家康』の放送により増加する県内外観光客(参考:静岡市大河ドラマ館 目標来館者数 50万人)の周遊及び消費促進を目的に、クーポンを使用しながら楽しめる周遊ビンゴゲーム(新設する公式 LINE にて運用)を1月27日からスタート。

より多くの施設を周遊した者(ビンゴ達成者)が、豪華景品に応募でき、本事業は新設する公式 LINE にて一括運用する。

大河ドラマ館運営期間(令和5年1月27日～令和6年1月28日)に本事業を並行して実施し、LINE 友達登録者数は、6万人を目標としている。本事業の実施により、多くの友達登録者を確保し、LINE 友達登録時に行う属性登録及び景品応募時に行う簡易アンケートの実施により、本事業の効果測定を行い、今後のDMO事業に活用していく予定である。

【当期間の活動及び成果】

	目標	令和4年度末時点実績数
クーポン参画事業者数	100店舗	225店舗
友達登録者数	60,000人	9,300人
クーポン利用件数	—	8,000件

2 MICE事業

経営計画に基づく KPI		
	令和4年度(目標値)	令和4年度(実績)
セールス件数	200件	231件
新規 MICE 開催件数	90件	23件
MICE 支援件数	180件	67件
外国人宿泊者数	75,000人	—

(1) MICE 誘致事業

【目的・概要】

国内 MICE においては、JNTO・JCCB や県、市などの MICE 関係機関との連携を強化するとともに、100人程度の小規模から500人前後の中規模程度のコンベンションをターゲットとし、特に海洋系のコンベンション誘致に取り組む。

海外 MICE においては、新型コロナウイルス感染症による社会情勢に合わせて、WEB を活用したオンライン事業や、JNTO や県、市などのインバウンド関係機関の協力を得て海外プロモーション活動等を実施し、当地域へのインバウンド復活を推進する。特に、事業者から最も要望が強く、早期回復市場として期待される「台湾」、東南アジア MICE の中心であり、台湾と同様に静岡県在外事務所がある「シンガポール」を重点市場とし、中期回復市場として「タイ」、「ベトナム」、長期回復市場として欧米とし、今まで構築してきた関係性を継続させるため、リアル、オンラインの商談会に積極的に出展する。

【年度 KPI】

	R4 目標	R4 実績
セールス件数	200件	231件
新規 MICE 開催件数	90件	23件
外国人宿泊者数	75,000人	—

① 国内外の見本市出展及び MICE 商談会等への参加

- ・国内においては、唯一の国際 MICE 見本市である「IME(International MICE Expo)」をはじめ、VISIT JAPAN Travel & MICE Mart(VJTM)や JNTO、PATA(Pacific Asia Travel Association)、静岡県などが主催する国内外の見本市及び商談会に観光事業者とともに出展し、誘致セールス及びデスティネーションマーケティングを行う。
- ・海外においては、コロナが収束に向かい、富士山静岡空港に就航路線が復活するタイミングで、リアル開催される商談会への出展を検討する。

【当期間の活動及び成果】

商談会は、コロナ禍において、引き続きオンラインが主体である一方で、With コロナに向けた機運の高まりもあり、完全にオンラインではなく、リアルとオンラインをミックスしたハイブリッド開催も多くなりつつある。これに対して柔軟かつ臨機応変に、以下の商談会に参加し、MICE 誘致に取り組んだ。

また、コロナにより、リアルなセールスや情報交換が難しいため、情報のアップデートを目的として、静岡県観光協会は静岡県が設置する在外事務所と独自で契約するセール代行会社(レップ)向けの、オンラインセミナーを開催し、当財団もコロナによる行動変容に対応した地域商品の紹介や、当財団の考え方を共有した。

特に、茶農家と関わって農家のリアルな暮らしが垣間見られる訪問、手作業で、文化や工芸技術に触れられる体験、お茶と食のペアリングは、好意的な反応であった。

商談日(会期)	商談会名	開催地(市場)	オンライン/リアル	商談件数
6月16日	東武トップツアーズ	東京	リアル	1
6月17日	中部運輸局・中央日本総合観光機構	名古屋	リアル	2
6月30日、7月6日、7月12日	JNTO シンガポール市場商談会	シンガポール	オンライン	5
8月24日	静岡県観光協会同行セールス	関西在日ランオペ	リアル	3
9月13日	静岡県観光協会インバウンド商談会	関東在日ランオペ	リアル	5
9月14日	JNTO ベトナムインセンティブ商談会	ベトナム	オンライン	6
9月22 - 24日	Visit Japan Travel Mart & MICE Mart	東京	ハイブリッド	28
9月27日	静岡県観光協会 在外事務所向けセミナー	ソウル、上海、台北、シンガポール	オンライン	8
10月5日	JNTO タイインセンティブ商談会	タイ	オンライン	8
10月22日	JNTO インドネシアインセンティブ商談会	インドネシア	オンライン	8
11月7・8日	MICE Expo in KANSAI 事前オンライン商談会	関西	オンライン	7
11月15日	JNTO インドインセンティブ旅行商談会	インド	オンライン	4
11月16日	JNTO シンガポール国際会議・インセンティブ旅行商談会	シンガポール	オンライン	4
12月7・8日	MICE Expo Kansai 2022	大阪	リアル	8
12月15日	静岡県台湾事務所主催オンライン商談会	台湾	オンライン	8

12月14日	JNTO 台湾インセンティブ商談会	台湾	オンライン	5
1月17日	JNTO マレーシア・フィリピンインセンティブ商談会	マレーシア フィリピン	オンライン	9
2月16日	IME 2023 2/15 首都圏セールス	東京	リアル・オンライン	11
2月23日	Japan Vietnam Festival	ベトナム	リアル	13
2月28日	静岡県観光協会 在外レップ向けセミナー	アメリカ オーストラリア	オンライン	5
3月9・10日	JNTO ロサンゼルス事務所主催 AT 商談会	アメリカ	オンライン	14
計				162

② 首都圏等における大会事務局への戸別訪問

- ・首都圏等における大会主催者になりうるキーパーソン、学会・団体事務局、旅行会社等を積極的に戸別訪問し、開催情報の収集、当地域での開催提案等の誘致活動を行う。
- ・金沢市・高松市・熊本市・盛岡市と連携し(5都市会議)、誘致・開催支援の情報交換を行い、効率的な大会誘致を図る。

【当期間の活動及び成果】

With コロナの機運の高まりとともに、学会事務局や PCO へのリアル訪問のハードルが、徐々に下がってきたため、コロナ禍において控えていたリアルセールスを再開した。

このセールスは、学会開催率が高い医学や工学系にアプローチし、エクスカージョンなど、プレ・アフターの需要も対象とするため、浜松コンベンションビューローと共同で行った。

商談日(会期)	開催地(市場)	オンライン/リアル	商談件数
5月11 - 12日	東京	リアル	12
6月16 - 17日	東京	リアル	18
		計	30

③ ファムトリップ・キーパーソン招請事業

- ・富士山静岡空港の国際線が再開するタイミングで、JNTO、静岡県や静岡ツーリズムビューロー (Tourism Shizuoka Japan/通称 TSJ) 及び観光事業者と連携し、デスティネーションマーケティングに結び付けるファムトリップや、MICE 開催に影響力を有するキーパーソンを招請し、視察等を実施する。

【当期間の活動及び成果】

インバウンドの回復後の需要づくりを見据え、先行して記事配信をするため、4社8名の受け入れを実施した。

静岡県観光協会と協力し、在京ホテルコンシェルジュ、オーストラリアの旅行代理店の視察受け入れ、静岡県台湾事務所事業に協力し、在台湾旅行社8社8名と業界紙2社2名の受け入れを実施した。

加えて、フランスを主たるマーケットとする在静ランドオペレーターを通し、在仏旅行会社から商品企画開発の相談があり、実施した。

また、静岡県空港振興課より、富士山静岡空港への新規就航候補先「香港」と、復便を目指している「台湾」、「中国」市場に対するキーパーソン及びインフルエンサー招聘事業を受託した。

- ・空港利用促進のための魅力発信事業(インフルエンサー招請) 【業務受託料:4,160,200 円】
- ・富士山静岡空港香港路線誘致事業 (香港 EGL ツアーズ) 【業務受託料:1,952,874 円】

No.	受入日	会社名	市場	人数	実績
1	6月17日	LIVE JAPAN	繁体字・英語・韓国語・日本語	3	5記事×4言語 計20記事
2	7月21日	Japanecdote	フランス	2	3プラン 企画開発
3	10月27日	台湾亮起来	台湾	2	テレビ放送2回
4	11月11日	在京ホテルコンシェルジュ	国内(インバウンド)	1	受入れ済み
5	11月28日	ジャーナリスト(イタリア系旅行社)	イタリア	3	受入れ済み
6	12月5日	静岡県台湾事務所取材旅行社 ファム	台湾	10	旅行会社8社8名 業界紙2社2名
7	2月2日	静岡県観光協会英国レップ	イギリス	1	受入れ済み
8	2月7日	香港 EGL ツアーズ ※県受託	香港	4	受入れ済み
9	2月20日	在日インフルエンサー ※県受託	中国	2	投稿4回
10	2月22日	在日インフルエンサー ※県受託	台湾	2	投稿11回 掲載7媒体
11	3月2日	JNTO フランス メディアファム	フランス	3	メディア2社2名 フリーランス1名
12	3月25-26日	MW Tour	オーストラリア	1	受入れ済み

④ 観光庁・日本政府観光局(JNTO)・JCCB 等関連情報の収集

上記の MICE 関連機関や静岡県が主催する協議会等に積極的に参加し、情報収集及びアプローチをすることで、圏域内での開催可能性を探る。

【当期間の活動及び成果】

With コロナの機運の高まりとともに、リアル訪問のハードルが、徐々に下がってきたため、コロナ禍において控えていたリアルセールスを再開した。

JNTO が、世界の観光業界の潮流である「アドベンチャートラベル」についてのテーマ特化型セミナーを行った。

現在、当財団が実践している「地域産業のお茶とツーリズムの関わり」「お茶体験場所を E-bike で訪問する商品開発」が先進事例として、紹介された。

また、今年9月には、北海道で ATTA (Adventure Travel Trade Association) 世界サミットが行われ、それに向けての再度イベントが開かれたため、ネットワーキングのため参加した。

商談日(会期)	開催地(市場)	商談方式	商談件数
6月16日	JNTO 東京本部	リアル	3
9月7日-8日	JNTO インバウンド旅行振興フォーラム(東京)	リアル	23
9月14日-15日	JNTO インバウンド旅行振興フォーラム個別相談会	オンライン	7
1月26日	JNTO テーマ特化型セミナー (米国におけるアドベンチャートラベル市場)(東京)	リアル	1
2月13日	ATTA Adventure Connect Tokyo Forum(東京)	リアル	5
計			39

⑤ MICE 開催による経済波及効果の測定

圏域内で開催した MICE の経済波及効果を測定し、プレスリリースすることで、誘致・開催意義を広くアピールする。

【当期間の活動及び成果】

コンベンション・見本市 4,609 百万円 イベント・スポーツ大会 1,184 百万円 合計 5,793 百万円

⑥ MICE 連絡会の開催

行政やコンベンション施設担当者等で組織する「MICE 連絡会」を定期的に行い、誘致状況や開催情報を共有することにより、オール静岡で MICE 誘致に取り組む。

【当期間の活動及び成果】

商談日(会期)	会議名	開催場所	参加者
6月3日	第1回 MICE 連絡会	グランシップ	12

⑦ MICE 開催情報の発信

WEB サイト等を通じ、MICE 開催情報をタイムリーに提供することにより広報宣伝活動に努める。また、インバウンド誘致のため、海外商談パートナーネットワークを拡大するとともに、定期的にメールを配信し、誘致に繋げる。

ア メールによる情報発信

海外商談相手に対しての継続的な情報発信や、賛助会員に対して国内外のタイムリーな情報や当財団の取り組みについて紹介する「Visit Suruga Newsletter」を発信し、情報の共有を図る。

【当期間の活動及び成果】

日付	発信数
7月12日	640

(2) MICE 開催支援事業

【目的・概要】

主催者の運営サポートを行うことで、参加者の消費額及び満足度向上を図る。

【年度 KPI】

支援件数 180 件

① コンベンション等誘致助成金交付事業

ア 国際会議誘致助成金交付事業

国際会議の誘致を促進するため、一定の条件に該当する外国人が参加する国際会議の主催者に MICE 開催経費の一部として、以下のとおり助成を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、申請を受けていた学会が開催延期、又はハイブリッド開催となった。(合計0円)

【当期間の活動及び成果】

- ・第4回世界小規模漁業会議・アジア太平洋地域支部会【ハイブリッド開催】

開催期間:令和4年5月10日(火)～5月12日(木)

開催場所:清水テルサ(静岡市清水区)

参加者数:400名(うち外国人参加者20ヶ国200名)

申請金額:1,000,000円(外国人参加者数が規定数に達しなかったため助成なし)

- ・第8回バリア近傍エネルギーでの重イオン衝突に関する国際会議(FUSION20)【延期】

開催期間:令和4年11月14日(月)～11月21日(月)

開催場所:清水テルサ(静岡市清水区)

参加者数:107名(うち外国人参加者20ヶ国79名)

申請金額:700,000円(翌年に再々延期となったため助成なし)

② シャトルバス運行助成金交付事業

コンベンション参加者を最寄りの駅から大会会場などに移送するためのシャトルバスの運行に要する経費の一部として、下記のとおり助成を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、国際会議における申請を受けていた学会が開催延期、又はハイブリッド開催となった。その反面、大規模の全国大会は開催されたため、助成金を交付した。(合計100,000円)

【当期間の活動及び成果】

- ・第 16 回法人会全国女性フォーラム静岡大会
開催期間:令和4年4月 14 日(木)～ 4月 15 日(金)
開催場所:ツインメッセ静岡(静岡市駿河区)
参加者数:1,800 名(うち県外参加者 1,500 名)
申請金額:100,000 円
- ・第4回世界小規模漁業会議・アジア太平洋地域支部会【ハイブリッド開催】
開催期間:令和4年5月 10 日(火)～ 5月 12 日(木)
開催場所:清水テルサ(静岡市清水区)
参加者数:400 名(うち外国人参加者 20 ヶ国 200 名)
申請金額:300,000 円(予定していたシャトルバスが運行中止となったため助成なし)
- ・第8回バリア近傍エネルギーでの重イオン衝突に関する国際会議(FUSION20)【延期】
開催期間:令和4年 11 月 14 日(月)～ 11 月 21 日(月)
開催場所:清水テルサ(静岡市清水区)
参加者数:107 名(うち外国人参加者 20 ヶ国 79 名)
申請金額:300,000 円(翌年に再々延期となったため助成なし)

※ いずれの助成金についても、当年度助成する対象については、前年度の9月末までに申請があったものとし、前年度末までに開催する支援事業選定委員会にて審査を行い、要件を満たしているコンベンション主催者に対して助成する。

③ コンベンション開催準備資金貸付事業

コンベンション開催準備資金の貸付を希望する主催者に対し、支援事業選定委員会による審査を経て、貸付要件を満たしている際に開催準備資金の無償貸付(最長2年)を行う。

【当期間の活動及び成果】

貸付実績なし

④ その他支援事業

ア 歓迎モニュメント設置

・大会名入りのモニュメント設置により、大会参加者に歓迎の意を表す。

イ MICE 参加者用ギブアウェイ及び観光パンフレット等の作成及び提供

・当地域で開催支援する MICE における県外からの参加者に対し、お茶等の地域特産品のノベルティを配布する。また、オンライン開催の参加者に対し専用お土産 EC サイトへの流入を促し、当地域ならではの土産購入に繋がるよう消費喚起を促す。

・昨年度 WEB 化した圏域内の観光施設等の優待割引券「駿河の国おもてなしクーポン」及び「グルメ&ナイトマップ」の内容充実を図る。特に、「グルメ&ナイトマップ」については、掲載店舗に優待割引の協力を依頼し、利便性及び消費額の向上を図る。

・コンベンションバッグ(1枚 100 円)、名札(1個 30 円)を有償にて提供する。

・新型コロナウイルス感染症対策として、スタンド型アルコール消毒液器フットペダル、フィジカルディスタンス確保用パネルマット(屋内外利用可能)を貸し出す。

【当期間の活動及び成果】

歓迎モニュメント設置、観光パンフレット等の提供による支援

設置回数 A=3 C=25 D=19	(内訳) 静岡=39 焼津=1 藤枝= 6 島田=1	47 件
スタンド型アルコール消毒液器 11 件	フィジカルディスタンスパネルマット	6 件
コンベンションカード 14, 629 部	地域特産物ギブアウェイ	2,610 部

※ 観光庁コンベンションビューロー支援事業

観光庁が「コンベンションビューロー支援事業」として、国際 MICE の誘致・開催に積極的な都市に対し、将来的に日本の都市の国際競争力の引き上げを図ることを目的として、MICE の誘致・開催における機能の強化に向けた支援を行っており、令和4年度支援対象都市として、静岡市が選定された。これにより、令和4年9月～令和5年3月に合計5回の研修を受講した。

【研修内容】

1. キックオフ研修(9/6(火))
 - JNTO 講義『国際会議の動向と JNTO の支援制度について』
 - 講義①「国際 MICE 概論」
 - 講義②「コロナ禍を経験した社会における変化への対応」
 - 各都市から MICE の取組について発表
 - 観光庁とのディスカッション
2. 第2回研修(10/13(木)～14(金))
 - SWOT 分析に基づき地域の特色を表現した MICE タグラインの考案(分析)
 - SWOT 分析に基づき地域の特色を表現した MICE タグラインの考案①(クリエイティブ)
 - 誘致案件のターゲティング(リード開発)と具体的な誘致手法について①
 - 国際会議誘致提案書(ビッドペーパー)のテンプレート作成①
 - 誘致案件のターゲティング(リード開発)と具体的な誘致手法について②
3. 第3回研修(11/24(木)～25(金))
 - 講義『仙台に学ぶ国際会議の誘致活動～自治体・地域関係者・ローカルホストとの進め方』
 - 講義『SDGs／サステナビリティへの取組』
 - SWOT 分析に基づき地域の特色を表現した MICE タグラインの考案②
4. 第4回研修(1/23(月)～24(火))
 - 講義『海外向け開催地プロモーション』
 - 講義『地域のステークホルダーとの連携体制の構築』
 - UV やプレポストプログラム等のコンテンツ開発
 - デジタルリテラシーの向上
 - MICE タグラインの開発
5. 第5回研修会(2/17(金))
 - 講義『ポストコロナの MICE の動向と取るべき方策』
 - 各都市からのプレゼンテーション

(令和4年度 MICE 開催支援実績)

種 別	支援回数(内国際)	参加者	左の内県外参加者(外国)
Meeting	—	—	—
Incentive	73(73)	1,568 人	1,568 人 (1,568)
Convention	23 (0)	11,310 人	6,907 人 (27)
Exhibition	5 (0)	181,150 人	33,700 人 (0)
Event	6 (0)	22,467 人	3,557 人 (85)
Event(Sports)	33 (0)	35,131 人	15,678 人 (0)
合 計	140(73)	251,626 人	61,410 人 (1,680)

3 静岡市観光振興事業

経営計画に基づく KPI		
	令和4年度(目標値)	令和4年度(実績)
WEB サイト閲覧数	1,600 千 PV	2,462 千 PV
教育旅行誘致件数	40 校	49校
着地型商品造成数	10 本	1 本
観光案内所利用者数	132,000 人	78,119 人
船宿「未廣」来館者数	21,000 人	7,350 人
観光案内所苦情件数	0 件	0 件

(1) 観光客誘致事業

【目的】

静岡市をはじめ中部エリアが有する多様かつ豊富な地域資源の商品化を図り着地型観光を推進する。これまでの観光のスタイルが行動自粛により縮小され、マイクロツーリズムが主流となり観光の形態が大きく変化している。そこで新しい観光のニーズに対応できるように、観光関連業者及び近隣の観光協会、各種団体等との連携を図りながら情報交換を行い、中部エリアへの観光客誘致に取り組む。

【年度 KPI】

教育旅行誘致件数 40 校

【当期間の活動及び成果】

① 修学旅行等教育旅行誘致事業

ア 令和4年4月 27 日(水)

今年度、教育旅行実施予定の八王子市立小学校 25 校の担当教諭と教育委員会、校長会関係者市内受入施設の下見を実施した。

イ 令和5年2月 21 日(火)～令和5年2月 22 日(水)

静岡市観光・MICE 推進課としずおか体験教育旅行とキャラバンを組み、山梨県・東京都・神奈川県との教育委員会と旅行会社を対象にセールスを実施した。大河ドラマ館を含め最新の観光施設情報の紹介と教育旅行の催行状況のヒアリングを行った。

② 国内旅行客誘致事業

静岡市内外で開催される観光展や物産展に出展し、観光パンフレットの配布や静岡市の特産品が当たる抽選会を実施し、静岡市の魅力発信に努めた。特に、夏以降は、徳川家康公ゆかりの地としての紹介や7月にプレオープンした静岡市歴史博物館の PR などを行った。

ア 長野県 善光寺御開帳 2022 日本一の門前町大縁日～魅力発信ブース～出展

実施日 令和4年5月7日(土)～8日(日)

会場 長野市セントラルスクエア

イ 第1回リベンジ清水庵原フェス

実施日 令和4年5月 21 日(土)

会場 清水庵原球場プロムナードほか

ウ 清水港フラワーフェスタ 2022

実施日 令和4年5月 22 日(日)

会場 清水マリンパーク

エ 第1回「SUMPUPU マルシェ」

実施日 令和4年5月 28 日(土)

会 場 青葉シンボルロード

オ 第71回金沢百万石まつり 加賀百万石「盆正月」

実施日 令和4年6月4日(土)～5日(日)

会 場 金沢市 金沢城公園

カ 「室蘭市開港 150 年・市制 100 年記念式典」「姉妹都市・交流都市等との観光と物産展」

実施日 令和4年7月 29 日(金)～30 日(土)

会 場 室蘭市 入江臨海公園ほか

キ イトーヨーカドー三島店出展

実施日 令和4年9月9日(金)～11日(日)

会 場 イトーヨーカドー三島店

ク 上越市「姉妹都市と上越市の観光と物産展」出展

実 施 日 令 和 4 年 10 月 1 日(土)～2 日(日)

会 場 上越観光物産センター大ホールおよび駐車場

ケ 横浜市「京急百貨店」出展事業

実 施 日 令 和 4 年 10 月 29 日(土)～30 日(日)

会 場 京急百貨店地下催事会場

コ 横浜市「イトーヨーカドーららぽーと横浜店」出展

実 施 日 令 和 4 年 11 月 8 日(火)～14 日(月)

会 場 イトーヨーカドーららぽーと横浜店

サ 産業フェアしずおか出展

実施日 令和4年 11 月 26 日(土)～27 日(日)

シ 第2回清水いはらフェス

実施日 令和5年 1 月 29 日(日)

会 場 ツインメッセ静岡北館

ス プロスポーツ(清水エスパルス)開催時観光宣伝事業

・名古屋グランパス戦

実施日 令和4年5月 21 日(土)

会 場 IAI スタジアム日本平

内 容 清水エスパルスのホームゲーム開催日に、アウェイサポーターを対象に観光パンフレットやノベルティの配布と、スタジアム内の大型スクリーンを活用した、MANAVIVA!のPRを行った。



【大型スクリーンによる MANAVIVA!の PR】

・京都サンガ戦

実施日 令和4年8月 27 日(土)

会 場 IAI スタジアム日本平

内 容 清水エスパルスのホームゲーム開催日に、アウェイサポーターに対し観光パンフレットやノベルティの配布と、スタジアム内の大型スクリーンを活用した茶氷の PR を行った。

・ジュビロ磐田戦

実施日 令和4年 10 月1日(土)

会 場 IAI スタジアム日本平

内 容 清水エスパルスのホームゲーム開催日に、アウェイサポーターに対し観光パンフレットやノベルティの配布と、スタジアム内の大型スクリーンを活用した茶氷の PR を行った。

・清水エスパルス WEB サイトへバナー広告の掲載

内 容 清水エスパルスの公式 WEB サイトのトップページに、当局の WEB サイトへのリンクバナー広告の掲出を行った。

セ 山梨県内観光 PR 事業

〈広告〉

・山梨日日新聞 夏の静岡イベント・レジャーガイド特集

掲載日 令和4年7月16日(土)

・山梨日日新聞 秋の静岡イベント・レジャーガイド特集

掲載日 令和4年10月22日(土)

・山梨日日新聞 広告 冬のイベント告知

掲載日 令和5年1月21日(土)

〈ラジオ出演〉

・山梨放送 ラジオ 20 秒 CM 10 回

放送日 令和5年1月16日(月)～20日(金)

・山梨放送「はみだし しゃべくり ラジオキックス」出演

放送日 令和5年1月20日(金)

・FM-富士「しずおか日和」出演

放送日 令和5年1月22日(日)

〈出展〉

・甲府大好き祭り出店

実施日 令和4年11月5日(土)

会 場 甲府市 小瀬スポーツ公園

・食べて納得！買って満足！しずおか美食市出展

実施日 令和5年1月21日(土)～22日(日)

会 場 イトーヨーカドー甲府昭和店

ソ 大河ドラマ PR 事業

【事業概要】

大河ドラマ「どうする家康」の放送により大幅に増加する観光客の受入環境の強化及び新たなフォトスポットの創設を目的に JR 静岡駅観光案内所(静岡市総合観光案内所)を家康公が愛したまち静岡を感じられるような空間にリニューアル工事を実施した。

・ 工事实施日 令和5年1月6日

・ 工事实施場所 静岡市総合観光案内所(静岡市葵区黒金町 49-1)

・ リニューアル概要

【外装】観光客が観光案内所前で記念撮影できるよう、正面ガラス全面にデザインフィルムを貼付した。観光案内所自体がフォトスポットや待ち合わせ場所となるようなデザインとした。

【内装】正面壁面には、家康公の象徴「金色」のポスターケースを設置し大河ドラマ関連ポスターの掲示、全パンフレットラック及びショーケースを新調した。ショーケース内には、家康公関連のお土産を展示した。



③ 旅行商品企画販売事業

ア 「臨済寺特別拝観と修行体験」事業

会 場 臨済寺(静岡市葵区大岩町7-1)

内 容 4月 11 日(月)から「臨済寺 特別拝観と修行体験」の参加者を募集し、開催日は、5月 14 日(土)から 17 日(火)までの4日間で、健康祈願のご祈祷や、座禅体験など、各日 2回、計8回の修行体験を実施した。



実施日	昼の部	夜の部
5月14日(土)	22名	24名
5月15日(日)	23名	24名
5月16日(月)	24名	22名
5月17日(火)	23名	24名

(昼の部 92名 夜の部 94名 参加者合計数 186名)

(2) 観光宣伝事業

【目的】

静岡市の魅力発信と来静者への観光案内および利便性の向上を目的とした観光パンフレットの作成や、広告媒体を利用した近隣エリアに向けての情報発信、静岡市のイメージアップを目的としたJR東静岡自由通路ショーケース等での PR、特に WEB サイトによる情報提供は、新型コロナウイルス感染の終息に備え、静岡市の旬な話題や観光・イベント情報及びコンベンション支援情報をタイムリーに提供していく。

【年度 KPI】

WEB サイト閲覧数 1,600 千 PV

【当期間の活動及び成果】

年間 WEB サイト閲覧数 2,461,584PV (前年同期比 144% 年度 KPI を達成)

NHK の来年度大河ドラマ「どうする家康」の影響を受け PV 数が大幅に上昇した。

① パンフレット等作成事業

新型コロナウイルス感染症の感染者の減少に伴い、観光需要が伸び、観光展や商談会などの機会が増加してきたため、既存の観光パンフレットを増刷した。

また、インバウンド用に英語版の静岡駅周辺から大河ドラマ館までのリーフレットなどの新規作成に取り組んだ。

ア 静岡市観光パンフレット『しずおか するたび』増刷

作成部数 10,000 部

イ わお！マップ(静岡市ロードマップ)

購入部数 20,000 部

ウ 英語版静岡駅周辺リーフレット

作成部数 20,000 部

エ 観光宣伝用ビニール袋

作成部数 20,000 部

② 広告宣伝事業

ア JR 静岡駅地下道、JR 東静岡駅に設置の広告ショーケースを活用し、静岡市の PR 及びイメージ向上を図るための広告宣伝を継続して実施し、今年度は大河ドラマ放送の事前 PR として、イメージポスターを掲示し、PR に努めている。

イ オクシズ PR 事業

梅ヶ島温泉郷「赤水の滝」ライトアップイベントを通して、一年を通じて集客が見込まれる秋の観光 PR のテレビコマーシャル動画、チラシ、ポスターを作成した。

CM 期間 令和4年 11 月 5 日(土)～11 月 13 日(日)

テレビコマーシャルの制作及び放送

「事前告知篇」15 秒動画の制作、「開催中篇」15 秒動画の制作

PR 用チラシ 5,000 部 拡大 判ポスター 30 枚

ウ ラジオ出演

静岡市の秋のイベント PR のため、シティエフエム静岡「FM-Hi！」番組出演

放送日 令和4年 10 月 21 日(金)

③ 情報発信事業

WEB サイトによる情報提供を実施、併せてサイトの内容の見直し等を継続し行い、閲覧数増に努めるとともに、大河ドラマ放送に合わせた特設ページの作成を行った。

(3) 観光客等受入事業

【目的】

観光案内所を運営し、来訪者への情報提供の充実を図る。当市における新型コロナウイルス感染拡大に伴う観光施設等の営業状況や内容変更など常に情報収集をし、来訪者の正確な情報を提供する。静岡市指定管理事業においては、来館者に対し情報発信を行う観光案内所機能を果たすとともに、感染予防対策を万全にしたうえで独自の事業を展開し入館者増を目指す。

【年度 KPI】

案内所利用者数 132,000 人

未廣来館者数 21,000 人

【当期間の活動及び成果】

① 観光案内所運営事業

ア 静岡駅総合観光案内所(静岡駅北口) 56,333 人

イ 静岡市静岡駅観光案内所(静岡駅南口) 10,222 人

ウ 静岡市清水駅前観光案内所 11,564 人

② 船宿「末廣」運営事業

来館者に対し、清水港及びその周辺地域の歴史に関する資料展示や観光と物産の情報を提供した。毎年恒例の「鯉・端午の節句飾り展」、「清水の新茶を楽しむ」、6月～7月の七夕期間中は、「七夕飾り☆に願いを届けよう」を展示、新規事業として、9月に「敬老の日によせた古布の人形展」と「チヨットプラモを楽しもう」、12 月は「次郎長巻談」、「干支の置物作り」、1月は SAPC 朗読劇「鮫講釈」公演を実施した。また、雛祭りに合わせ1月 15 日より「雛飾りかつるし飾り展」を3月 31 日まで開催している。

入館者数 7,350 人(R5.3 月末)

③ 三保松原文化創造センター・みほしるべ

印刷物作成として、三保周辺マップ 20,000 部を作成した。

来所者数 127,385人(R5.3 月末)

④ 観光ボランティアガイド支援事業

支援事業選定委員会を開催し、地域観光振興のため活動する下記団体へ活動支援のための助成金の交付を決定した。

・清水地区観光ボランティアガイドの会(SVG) 助成額 100,000 円

⑤ 大型客船寄港時受入事業

清水港日の出埠頭岸壁にて乗船客に対し観光案内を行った。

令和4年4月23日(土)ぱしふいっくびいなす

令和4年6月28日(火)飛鳥II

令和4年7月23日(土)につぼん丸

令和4年8月20日(土)につぼん丸

令和5年2月23日(祝)につぼん丸

令和5年3月22日(土)飛鳥II

⑥ 客船寄港時における観光通訳ボランティア及びマルシェ出店者管理業務及び現場通訳業務

清水港へ寄港する客船の乗客、クルーに観光を楽しめるよう受入体制を整えるとともに、静岡・清水の良さをPRする清水らしいおもてなしを行うことにより、客船等寄港の定着化、新たな客船等の誘致、さらには静岡市への観光客数の増加に繋げる様に、清水港へ寄港されている国内・外国客船の為に観光通訳ボランティアやマルシェに係る事前調整を受託した。

令和5年3月1日(水)アマデア

令和5年3月13日(月)セブンシーズ・エクスプローラー

令和5年3月14日(火)ウェステルダム

令和5年3月21日(火・祝)MSC ポエジア

令和5年3月25日(土)オイローパ2

令和5年3月27日(月)セブンシーズ・エクスプローラー

⑦ 「しずおか茶巡りデスク」運營業務受託

お茶ツーリズム体験希望者と受け入れ可能な茶農家を繋ぐ窓口機能を持った「しずおか茶巡りデスク」の運營業務を受託し、相談・受入調整をワンストップで行うとともに、お茶に関する体験希望者及び来訪者数を増やすため、国内外へ広く情報発信を行った。

No	体験内容	受入先	体験日	国籍	人
1	試飲、茶畑見学、お茶摘み	黄金みどり茶園	令和4年4月5日(火)	日本	4
2	試飲、茶畑見学、工場見学	お茶の森	令和4年4月10日(日)	日本	2
3	試飲、茶畑見学、農泊体験、等	ぬくもり園ゆるり	令和4年4月20日(水) ～令和4年4月22日(金)	日本	1
4	試飲、お茶摘み	マル清漆畑製茶	令和4年5月5日(木)	日本	3
5	試飲	chagama	令和4年5月12日(木)	日本	2
6	試飲、茶畑見学、工場見学	マルジョウ村上園・ いはち農園	令和4年5月15日(日)	日本	3
7	試飲、お茶摘み、茶畑見学、工場 見学	マルイチ水野製茶	令和4年5月15日(日)	日本	1
8	試飲、お茶摘み	マル清漆畑製茶	令和4年5月16日(月)	日本	2
9	茶畑見学、工場見学	マルイチ水野製茶	令和4年5月23日(月)	日本	2
10	試飲、茶畑見学、工場見学	マルイチ水野製茶	令和4年6月2日(木)	日本	1
11	試飲、お茶摘み	マルイチ水野製茶	令和4年6月5日(日)	日本	5
12	試飲、お茶摘み、茶畑見学、お茶 スイーツ	マルイチ水野製茶	令和4年6月18日(土)	アメリカ	5
13	試飲、お茶摘み、茶畑見学、工場 見学	マル清漆畑製茶	令和4年8月5日(金)	日本	2

14	試飲、お茶摘み、茶畑見学、工場 見学	足久保ティーワーク ス	令和4年8月24日(水)	日本	3
15	試飲、茶畑見学	かねぶん	令和4年9月28日(水)	シンガポール	3
16	試飲、茶畑見学	いはち農園	令和4年9月28日(水)	シンガポール	3
17	合組体験	マルヒデ岩崎製茶	令和4年9月29日(木)	シンガポール	2
18	合組体験	マルヒデ岩崎製茶	令和4年9月29日(水)	シンガポール	2
19	合組体験	マルヒデ岩崎製茶	令和4年9月29日(水)	日本	3
20	カフェ、茶畑見学、試飲体験	グリーンエイト	令和4年10月5日(水)	在住外国人	2
21	茶畑見学、試飲体験	マルジョウ村上園	令和4年10月5日(水)	在住外国人	2
22	茶畑見学、試飲体験	山水園	令和4年10月6日(木)	在住外国人	2
23	茶畑見学、試飲体験	お茶の森	令和4年10月6日(木)	在住外国人	2
24	茶畑見学、試飲体験	森内茶農園	令和4年10月6日(木)	在住外国人	2
25	カフェ、茶畑見学、試飲体験	グリーンエイト	令和4年10月17日(月)	日本・在住外国人	6
26	茶畑見学、試飲体験	マルジョウ村上園	令和4年10月17日(月)	日本・在住外国人	6
27	茶畑見学、試飲体験	森内茶農園	令和4年10月18日(火)	日本・在住外国人	6
28	試飲、茶畑見学	いはち農園	令和4年10月27日(木)	台湾	2
29	茶畑見学、試飲体験、お茶づくり 体験	ぬくもり園ゆるり	令和4年11月11日(金)	日本	1
30	茶畑見学、試飲体験	かねぶん	令和4年11月11日(金)	日本	1
31	茶畑見学、試飲体験	かねぶん	令和4年11月28日(月)	イタリア	4
32	茶畑見学、試飲体験、工場見学	かねぶん、志田島 園	令和4年12月19日(月)	アメリカ	2
33	茶畑見学、試飲体験、工場見学	マル清漆畑製茶	令和5年1月19日(木)	アメリカ	2
34	お茶を飲む、お茶スイーツ、茶畑 を見る、お茶を摘む、工場を見る	一茶、Maruzen Tea Roastery、 CHA10、 Chagama、 三保原屋	令和5年1月24日(火)	日本	1
35	お茶を飲む、お茶スイーツ、茶畑 を見る、お茶を摘む、工場見学	提案のみで 決定せず	令和5年3月7日(火)・ 8日(水)	ドイツ	2
36	茶畑見学	提案のみで 決定せず (客船ウェステルダ ム乗船中のお客様 からの問合せ)	令和5年3月14日(火)	不明	2
37	ファームステイ	ぬくもり園ゆるり	令和5年3月21日(火)・ 22日(水)	スイス	3
38	茶畑見学、工場見学	提案のみで 決定せず	令和5年3月21日(火)	アラブ首長国 連邦	3
39	茶畑見学、お茶を摘む、お茶を飲 む、工場見学、雲海を見る	かねぶん	令和5年3月28日(火)	シンガポール	3
計					103

⑧ おもてなしセミナー実施事業

・JAL おもてなしセミナー開催

日本航空の現役客室乗務員を講師におもてなしセミナーを開催した。

開催日 令和4年12月9日(金)

参加者 23名

・観光セミナー開催

「駿府時代の徳川家康公」をテーマに、静岡大学名誉教授小和田哲男氏を講師に講演会を開催した。

開催日 令和4年12月14日(水)

参加者 43名

⑨ 中部5市2町 GOTO スタンプラリー運營業務受託

受託期間 令和4年7月8日から令和5年1月31日

中部5市2町の魅力を再発見してもらう機会を提供し、観光施設への回遊性と交流人口を拡大させることを目的としたモバイルスタンプラリーを10月10日(祝)から12月11日(日)まで実施した。

(4) イベント支援事業

支援事業選定委員会を開催。地域振興への貢献と情報発信及び相当程度の集客力が見込まれる下記のイベントに対し、助成金の交付を決定した。

① 第20回記念清水カップ全国グラウンドゴルフ大会(助成金 900,000円)

開催日 令和5年2月15日(水)～16日(木)

参加者 258人

会場 日本平会場 日本平ホテル芝生公園
三保会場 三保真崎グラウンドゴルフ場

② 日本平ウォーク(助成額 300,000円)

開催日 令和5年2月19日(日)

参加者 およそ600人

会場 日本平周辺からエスパルスドリームプラザまで

収益事業

経営計画に基づく KPI		
	令和4年度(目標値)	令和4年度(実績)
登呂駐車場収益	9,400,000 円	12,736,100 円
駿府城跡観光バス駐車場実績	2,700 台	2,462 台
ショーケース収益	7,000,000 円	5,770,534 円
土産品等販売収益	1,100,000 円	1,208,190 円

【目的・概要】

役割規模、成長に応じた収益を担保し、財政的継続性を高める。

【当期間の活動及び成果】

財団運営における自主財源確保のため、年間を通し下記の事業を行った。

(1) 駐車場管理運営事業

① 登呂遺跡駐車場運営事業

年間利用台数 大型車 507 台 普通車 29,134 台 夜間大型車 32 台
夜間普通車 430 台 年間利用料収入：12,736,100 円

② 駿府城跡観光バス駐車場受託事業(受託金収入：6,032,400円)

年間利用台数 2,462 台(昼間 2,272 台、夜間 190 台)

(2) 静岡駅前地下道ショーケース貸付事業

長期貸出ケース数：13件 4,998,180 円
短期貸出ケース数：6件 772,354 円
年間合計額：5,770,534 円

(3) 観光施設等での土産品等販売事業

年間実績 1,208,190 円

法人運営

1 財政的継続性 –収益体質の強化–

財団職員の経験を活かした企画提案による事業受託及び行政庁の観光まちづくり推進事業における補助金申請等により、積極的な事業費の獲得に努めた。

また、管理運営経費については、事業決裁の電子化に向けた取り組みを開始したほか、ノー残業デーの徹底、印刷物のWEB化等を継続し、業務効率の向上と経費の削減に努めた。

2 人材育成

・人材採用

円滑な事業運営及び組織の継続的な成長を担う正規職員を、公募により2名採用した。

・人事評価制度の構築

財団理念の浸透と明確な目標に向けた職員の意識向上を図り、透明性の高い評価による個のモチベーションアップとチーム力の強化を目的とした、新たな人事評価制度を構築した。職員への制度説明及び評価者研修等を実施し、令和5年度から本格運用を行う。

・職員研修の実施

観光専門人材の育成、マネジメントスキルの強化等の課題に向け、行政庁及び民間団体等が実施する研修会への参加や外部専門人材を講師に招いて研修を実施するなど、職員のスキルアップを図った。

経営計画に基づくKPI		
	令和4年度(目標値)	令和4年度(実績)
当期一般正味財産増減額	400千円	15,895千円
プロパー人材採用数	0人	2人

【資金調達状況】

1 資金調達

なし

2 設備投資

- (1) 重要な固定資産の取得
 - (2) 重要な設備の新設、増設
 - (3) 重要な固定資産の売却、除却、滅失等
- なし

【基本財産運用状況】

該当なし

【重要な契約の締結】

1 業務名称:「観光案内所運営業務」

業務内容:JR 静岡駅及び清水駅前にて観光案内所を運営し、観光客に静岡市の多彩な魅力を発信して、街の回遊性を高める観光情報発信拠点としての役割を担う。

契約期間:令和4年4月1日から令和5年3月31日

契約先:株式会社東海道シグマ

契約金額:1時間あたり契約単価

- ① 静岡駅北口@1,980円 ② 静岡駅南口・清水駅前@1,650円

年間総額:20,949,394円

2 業務名称:「令和4年度テーマ性のある地域ブランディング推進業務」

業務内容:テーマ性のある地域ブランディングを、様々な媒体・手法を用いた一元的なプロモーションによって、観光需要づくり(デスティネーションマーケティング)を行うことを目的とする。

特に、旅先候補に挙がる環境づくり(メディア、ジャーナリストによる圏域取材やその支援)、旅への決心につなげる環境づくり(市場と地域を繋ぐポータルサイトの運営)、行きたくなる企画・商品準備(旅行会社招聘による旅行商品への組込みや BtoB 商談会出展や、ティーテラスのプロモーションと茶水プロジェクトの実施)を行う。

業者選定方法:公募型プロポーザル方式により選定

契約期間:令和4年4月1日から令和5年3月31日

契約先:株式会社 JTB 静岡支店

契約金額:22,793,738 円

【直前3事業年度の財産及び損益の状況】

(円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (当該事業年度)
経常収益	373,472,787	389,200,050	343,069,810	315,036,649
評価損益等調整前 当期経常増減額	3,908,943	1,380,432	14,798,716	17,538,671
当期経常増減額	3,908,943	1,380,432	14,798,716	17,538,671
正味財産期末残高	624,947,579	631,113,232	652,811,636	668,707,006

【評議員会、理事会等に関する事項】

1 評議員会

・臨時評議員会(第1回)

決議日:令和4年5月10日(火)

議 題:評議員の選任の件 (成立)

理事の選任の件 (成立)

・定時評議員会(第2回)

決議日:令和4年6月9日(木)

会 場:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

議 題:令和3年度事業報告の内容報告について

令和3年度決算書の承認について (成立)

・臨時評議員会(第3回)

決議日:令和4年9月30日(金)

議 題:評議員選任の件 (成立)

理事の選任の件 (成立)

・臨時評議員会(第4回)

決議日:令和5年3月31日(金)

議 題:評議員選任の件 (成立)

2 理事会

・臨時理事会(第1回)

決議日:令和4年4月28日(木)

議 題:重要な契約の締結について (成立)

評議員に対しみなし決議を提案する件について (成立)

・定時理事会(第2回)

決議日:令和4年5月23日(月)

会 場:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

議 題:令和3年度事業報告及び附属明細書の承認について (成立)

令和3年度決算書及び附属明細書の承認について (成立)

運営組織及び事業活動の状況の概要等について (成立)

定時評議員会の招集について (成立)

職務執行状況の報告について

・臨時理事会(第3回)

決議日:令和4年9月20日(水)

議 題:令和4年度補正予算について (成立)

評議員の選任の件 (成立)

理事の選任の件 (成立)

・臨時理事会(第4回)

決議日:令和4年11月10日(木)

議 題:変更認定申請書の提出について (成立)

令和4年度補正予算について (成立)

文書取扱規程の一部改正について (成立)

職務執行状況の報告について

・臨時理事会(第5回)

決議日:令和5年1月16日(月)

議 題:令和4年度補正予算について (成立)

給与規程の一部改正について (成立)

・臨時理事会(第6回)

決議日:令和5年3月22日(水)

会 場:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

議 題:静岡市外郭団体経営計画書の策定について (成立)

令和5年度事業計画及び収支予算について (成立)

重要な契約の締結について (成立)

令和5年度役員等賠償責任保険契約の締結について (成立)

正職員就業規則の一部改正について (成立)

育児介護休業規程の改正について (成立)

給与規程の一部改正について (成立)

退職金支給規程の一部改正について (成立)

支援事業選定委員会委員の選任について (成立)

事務局長の任免について (成立)

評議員に対しみなし決議を提案する件について (成立)

職務執行状況の報告について

【一般法人法第90条第4項第5号に規定する体制の整備の決定及び運用状況の概要】

○諸規程の改正状況

- ・正職員就業規則一部改正
- ・文書取扱規程一部改正
- ・給与規程一部改正
- ・育児介護休業規程改正
- ・退職金支給規程一部改正

○危機管理及びリスク管理等に関する研修への参加状況

- ・開催日：令和4年5月30日(月)
内 容：公益法人実務担当者説明会（職員1名参加）
- ・開催日：令和4年6月2日(木)
内 容：暴力団等による不当な行為の防止等に関する法律に規定する講習
（職員1名参加）
- ・開催日：令和4年9月30日(金)
内 容：入札談合等関与行為防止法等研修会（職員1名参加）
- ・開催日：令和5年度2月9日(木)
内 容：消費税法改正インボイス制度セミナー
電子帳簿保存法改正セミナー（職員10名参加）

【監査等実施状況】

監事による決算監査

令和4年5月12日(木)午後2時～午後4時30分

【公益財団法人変更登記に関する事項】

- (1) 令和4年6月 評議員及び理事の変更登記
- (2) 令和4年10月 評議員及び理事の変更登記

【行政庁への届出事項】

- (1) 令和4年6月 評議員及び理事の変更登記
- (2) 令和4年6月 事業報告等に係る届出
- (3) 令和4年10月 評議員及び理事の変更登記
- (4) 令和4年11月 変更認定申請
- (5) 令和5年2月 変更認定完了

【役員に関する事項】（令和4年度における役員等の就退任の状況）

区 分	年度当初	就 任	退 任	3月末
評議員	16名	5名	5名	16名
理 事	20名	4名	4名	20名
監 事	3名	—	—	3名

※令和5年3月31日現在の評議員、理事、監事は別紙名簿のとおり

<別紙1>

公益財団法人するが企画観光局 評議員名簿

評議員 16 名

敬称略

役職名	氏 名	役 職
評 議 員	岩崎 浩季	しずおか焼津信用金庫理事お客様サポート部長
評 議 員	大井 一郎	株式会社ドリームプラザ代表取締役社長
評 議 員	影島英一郎	静岡県スポーツ・文化観光部観光交流局長
評 議 員	川井 敏行	静岡鉄道株式会社代表取締役社長
評 議 員	川本 晋輔	静岡信用金庫常勤理事経営相談部長
評 議 員	小阪 秀彦	株式会社静岡新聞社取締役営業担当地域ビジネス推進局長兼業務部長
評 議 員	小林 敏彦	スルガ銀行株式会社静岡支店長
評 議 員	榛葉 晴彦	株式会社テレビ静岡事業局長
評 議 員	関根 俊介	株式会社静岡朝日テレビ総務局長
評 議 員	都築東一郎	株式会社 JTB 静岡支店長
評 議 員	中村 智浩	株式会社静岡銀行執行役員・地方創生部長
評 議 員	原田 佳典	島田掛川信用金庫地方創生室長
評 議 員	前田 邦彦	株式会社清水銀行支店営業部理事部長
評 議 員	望月 哲也	静岡市観光交流文化局長
評 議 員	本柳 純	近畿日本ツーリスト株式会社静岡支店長
評 議 員	吉永 浩己	株式会社静岡第一テレビ事業プロデュース局長

令和 5 年 3 月 31 日現在

〈別紙2〉

公益財団法人するが企画観光局 理事・監事名簿

理事 20名 監事 3名

敬称略

役職名	氏名	役職
理事長	田辺 信宏	静岡市長
副理事長	久保田 隆	静岡商工会議所観光・飲食部会長
副理事長	大須賀紳晃	株式会社静岡新聞社代表取締役社長
専務理事	池田 文信	公益財団法人するが企画観光局専務理事
理事	宇野 孝伸	藤枝市スポーツ文化観光部長兼観光交流政策課長
理事	浦田 学	株式会社静岡銀行地方創生部地方創生グループ長
理事	大本 裕一	焼津市経済部長
理事	岡村 渉	静岡市観光交流文化局次長
理事	神田 優一	静岡県中部地区商工会連絡協議会会長
理事	北川 雅之	島田商工会議所専務理事
理事	佐藤 修	島田市観光文化部長
理事	杉浦 衛	藤枝商工会議所専務理事
理事	田形 正典	牧之原市産業経済部長
理事	中野 裕文	川根本町観光商工課長
理事	西村 等	富士山静岡空港株式会社代表取締役社長
理事	藤原 融作	清水港客船誘致委員会委員
理事	松永 秀昭	静岡商工会議所常務理事
理事	村松悌三朗	焼津商工会議所専務理事
理事	八木 健祥	静岡県公立大学法人静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科長兼ツーリズム研究センター長
理事	山脇 一浩	吉田町産業課長
監事	佐藤 正欣	SRC・総合労務センター副所長
監事	西ヶ谷博行	あさひ税理士法人代表社員
監事	吉田 雄一	吉田雄一会計事務所所長

令和5年3月31日現在

令和4年度 事業報告の附属明細書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

重要な事項については、令和4年度事業報告にすべて記載されているため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

公益財団法人するが企画観光局
理事長 田辺 信宏

貸借対照表
令和5年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	158,251,196	138,608,677	19,642,519
未収金	22,854,399	12,428,691	10,425,708
貯蔵品	547,124	1,288,682	△ 741,558
前払金	1,779,819	1,239,128	540,691
仮払金	46,700	10,930	35,770
流動資産合計	183,479,238	153,576,108	29,903,130
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	692,933	692,933	0
投資有価証券	522,050,817	522,029,545	21,272
基本財産合計	522,743,750	522,722,478	21,272
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	61,980,940	58,396,213	3,584,727
国際会議誘致助成金積立資産	5,000,000	5,000,000	0
コンベンション開催準備資金貸付金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	76,980,940	73,396,213	3,584,727
(3) その他固定資産			
建物	5,379,443	6,202,005	△ 822,562
什器備品	148,602	277,289	△ 128,687
電話加入権	448,256	448,256	0
敷金	6,471,840	6,471,840	0
保証金	600,000	600,000	0
ソフトウェア	19,800	41,400	△ 21,600
その他固定資産合計	13,067,941	14,040,790	△ 972,849
固定資産合計	612,792,631	610,159,481	2,633,150
資産合計	796,271,869	763,735,589	32,536,280
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	55,543,805	42,918,100	12,625,705
前受金	528,000	83,000	445,000
預り金	41,818	22,440	19,378
仮受金	236,180	197,510	38,670
未払消費税等	1,672,700	1,634,200	38,500
未払法人税等	1,643,300	1,497,900	145,400
賞与引当金	5,910,684	6,100,972	△ 190,288
ポイント引当金	7,436	73,618	△ 66,182
流動負債合計	65,583,923	52,527,740	13,056,183
2. 固定負債			
退職給付引当金	61,980,940	58,396,213	3,584,727
固定負債合計	61,980,940	58,396,213	3,584,727
負債合計	127,564,863	110,923,953	16,640,910
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	668,707,006	652,811,636	15,895,370
(うち特定資産への充当額)	(522,743,750)	(522,722,478)	(21,272)
(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)
正味財産合計	668,707,006	652,811,636	15,895,370
負債及び正味財産合計	796,271,869	763,735,589	32,536,280

正味財産増減計算書
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,525,320	5,525,320	0
基本財産運用益計	5,525,320	5,525,320	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	6,045	6,194	△ 149
特定資産運用益計	6,045	6,194	△ 149
受取会費			
賛助会員受取会費	7,932,000	8,128,000	△ 196,000
受取会費計	7,932,000	8,128,000	△ 196,000
事業収益			
指定管理受託金	8,015,343	8,014,000	1,343
受取地方公共団体受託金	37,068,908	24,511,626	12,557,282
広告収益	162,800	273,900	△ 111,100
観光宣伝品売上収益	22,000	487,270	△ 465,270
コンベンション支援品売上収益	486,800	45,000	441,800
登呂遺跡駐車場収益	12,736,100	10,482,100	2,254,000
ショーケース利用料収益	5,770,534	7,649,708	△ 1,879,174
船宿「末廣」土産等売上収益	912,753	166,012	746,741
旅行商品売上収益	916,187	1,496,687	△ 580,500
その他事業収益	1,595,970	509,825	1,086,145
事業収益計	67,687,395	53,636,128	14,051,267
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	142,856,000	143,654,000	△ 798,000
受取国庫補助金	13,784,120	15,077,100	△ 1,292,980
受取補助金計	156,640,120	158,731,100	△ 2,090,980
受取負担金			
受取負担金	76,000,000	116,016,000	△ 40,016,000
受取負担金計	76,000,000	116,016,000	△ 40,016,000
雑収益			
雑収益	1,245,769	1,027,068	218,701
雑収益計	1,245,769	1,027,068	218,701
経常収益計	315,036,649	343,069,810	△ 28,033,161
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	61,990	599,837	△ 537,847
役員報酬	2,405,460	2,389,244	16,216
給料手当	44,641,832	50,622,717	△ 5,980,885
臨時雇賃金	9,565,058	8,862,794	702,264
法定福利費	9,138,634	10,558,780	△ 1,420,146
福利厚生費	1,374,759	1,605,041	△ 230,282
退職給付費用	3,050,873	2,551,508	499,365
賞与引当金繰入額	4,419,838	4,463,776	△ 43,938
会議費	266,340	496,180	△ 229,840
旅費交通費	3,261,808	896,878	2,364,930
通信運搬費	1,588,013	1,909,369	△ 321,356
建物減価償却費	675,906	675,906	0
什器備品減価償却費	90,080	90,080	0
ソフトウェア減価償却費	21,600	21,600	0
消耗什器備品費	287,430	90,200	197,230
消耗品費	5,536,610	4,369,354	1,167,256
修繕費	89,100	207,669	△ 118,569
印刷製本費	2,834,183	3,375,936	△ 541,753
燃料費	273,265	248,472	24,793
光熱水料費	2,032,722	1,831,225	201,497
賃借料	15,320,229	15,439,156	△ 118,927
保険料	333,165	592,682	△ 259,517
諸謝金	1,098,226	626,173	472,053
租税公課	3,276,870	2,922,970	353,900
支払負担金	11,545,042	9,937,042	1,608,000
助成金	4,400,000	3,479,532	920,468
委託費	101,401,532	125,975,121	△ 24,573,589
人材派遣費	33,021,393	31,691,438	1,329,955
手数料	948,007	2,947,408	△ 1,999,401
広告費	539,426	406,130	133,296
雑費	230,000	200,000	30,000
ポイント引当繰入額	7,436	73,618	△ 66,182
事業費計	263,736,827	290,157,836	△ 26,421,009

管理費			
役員報酬	2,405,460	2,389,245	16,215
給料手当	16,380,661	19,062,366	△ 2,681,705
退職給付費用	743,975	853,558	△ 109,583
法定福利費	3,229,790	3,608,234	△ 378,444
福利厚生費	428,357	515,185	△ 86,828
賞与引当金繰入額	1,490,846	1,637,196	△ 146,350
会議費	123,740	329,878	△ 206,138
旅費交通費	132,670	13,030	119,640
通信運搬費	208,838	280,611	△ 71,773
建物減価償却費	146,656	146,656	0
什器備品減価償却費	38,606	38,606	0
消耗什器備品費	0	279,950	△ 279,950
消耗品費	285,048	133,309	151,739
修繕費	28,500	132,979	△ 104,479
印刷製本費	88,084	90,420	△ 2,336
燃料費	25,029	20,017	5,012
光熱水料費	91,010	74,417	16,593
賃借料	3,147,913	3,015,272	132,641
保険料	229,694	455,773	△ 226,079
諸謝金	2,415,524	2,121,536	293,988
租税公課	23,430	50,230	△ 26,800
負担金	711,040	672,162	38,878
手数料	1,141,235	616,888	524,347
委託費	212,114	1,570,740	△ 1,358,626
雑費	32,931	5,000	27,931
管理費計	33,761,151	38,113,258	△ 4,352,107
経常費用計	297,497,978	328,271,094	△ 30,773,116
評価損益等調整前当期経常増減額	17,538,671	14,798,716	2,739,955
当期経常増減額	17,538,671	14,798,716	2,739,955
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
賞与引当金戻入額	0	6,596,996	△ 6,596,996
ポイント引当金戻入額	0	1,800,592	△ 1,800,592
その他の経常外収益計	0	8,397,588	△ 8,397,588
経常外収益計	0	8,397,588	△ 8,397,588
(2) 経常外費用			
固定資産減損損失			
固定資産除却損	1	0	1
固定資産減損損失計	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	8,397,588	△ 8,397,589
税引前当期一般正味財産増減額	17,538,670	23,196,304	△ 5,657,634
法人税、住民税及び事業税	1,643,300	1,497,900	145,400
当期一般正味財産増減額	15,895,370	21,698,404	△ 5,803,034
一般正味財産期首残高	652,811,636	631,113,232	21,698,404
一般正味財産期末残高	668,707,006	652,811,636	15,895,370
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	668,707,006	652,811,636	15,895,370

正味財産増減計算書内訳表
令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,762,660	0	2,762,660	0	5,525,320
基本財産運用益計	2,762,660	0	2,762,660	0	5,525,320
特定資産運用益					
特定資産受取利息	294	0	5,751	0	6,045
特定資産運用益計	294	0	5,751	0	6,045
受取会費					
賛助会員受取会費	3,966,000	0	3,966,000	0	7,932,000
受取会費計	3,966,000	0	3,966,000	0	7,932,000
事業収益					
指定管理受託金	8,015,343	0	0	0	8,015,343
受取地方公共団体受託金	31,036,508	6,032,400	0	0	37,068,908
広告収益	162,800	0	0	0	162,800
観光宣伝品売上収益	22,000	0	0	0	22,000
コンベンション支援品売上収益	486,800	0	0	0	486,800
登呂遺跡駐車場収益	0	12,736,100	0	0	12,736,100
ショーケース利用料収益	0	5,770,534	0	0	5,770,534
船宿「末廣」土産等売上収益	0	912,753	0	0	912,753
旅行商品売上収益	916,187	0	0	0	916,187
その他事業収益	1,595,970	0	0	0	1,595,970
事業収益計	42,235,608	25,451,787	0	0	67,687,395
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	110,462,000	0	32,394,000	0	142,856,000
受取国庫補助金	13,784,120	0	0	0	13,784,120
受取その他補助金	0	0	0	0	0
受取補助金計	124,246,120	0	32,394,000	0	156,640,120
受取負担金					
受取負担金	76,000,000	0	0	0	76,000,000
受取負担金計	76,000,000	0	0	0	76,000,000
雑収益					
雑収益	950,328	295,441	0	0	1,245,769
雑収益計	950,328	295,441	0	0	1,245,769
経常収益計	250,161,010	25,747,228	39,128,411	0	315,036,649
(2) 経常費用					
事業費					
仕入高	6,351	55,639	0	0	61,990
役員報酬	2,405,460	0	0	0	2,405,460
給料手当	44,641,832	0	0	0	44,641,832
臨時雇賃金	4,989,813	4,575,245	0	0	9,565,058
法定福利費	9,111,419	27,215	0	0	9,138,634
福利厚生費	1,322,482	52,277	0	0	1,374,759
退職給付費用	3,050,873	0	0	0	3,050,873
賞与引当金繰入額	4,419,838	0	0	0	4,419,838
会議費	266,340	0	0	0	266,340
旅費交通費	3,261,808	0	0	0	3,261,808
通信運搬費	1,542,374	45,639	0	0	1,588,013
建物減価償却費	675,906	0	0	0	675,906
什器備品減価償却費	90,080	0	0	0	90,080
ソフトウェア減価償却費	21,600	0	0	0	21,600
消耗什器備品費	287,430	0	0	0	287,430
消耗品費	5,435,064	101,546	0	0	5,536,610
修繕費	30,800	58,300	0	0	89,100
印刷製本費	2,813,283	20,900	0	0	2,834,183
燃料費	273,265	0	0	0	273,265
光熱水料費	1,699,833	332,889	0	0	2,032,722
賃借料	12,362,956	2,957,273	0	0	15,320,229
保険料	283,675	49,490	0	0	333,165
諸謝金	1,098,226	0	0	0	1,098,226
租税公課	2,097,603	1,179,267	0	0	3,276,870
支払負担金	11,544,242	800	0	0	11,545,042
助成金	4,400,000	0	0	0	4,400,000
委託費	97,081,030	4,320,502	0	0	101,401,532
人材派遣費	33,021,393	0	0	0	33,021,393
手数料	944,996	3,011	0	0	948,007
広告費	539,426	0	0	0	539,426
雑費	230,000	0	0	0	230,000
ポイント引当金繰入金額	7,436	0	0	0	7,436
事業費計	249,956,834	13,779,993	0	0	263,736,827

管理費					
役員報酬	0	0	2,405,460	0	2,405,460
給料手当	0	0	16,380,661	0	16,380,661
退職給付費用	0	0	743,975	0	743,975
法定福利費	0	0	3,229,790	0	3,229,790
福利厚生費	0	0	428,357	0	428,357
賞与引当金繰入額	0	0	1,490,846	0	1,490,846
会議費	0	0	123,740	0	123,740
旅費交通費	0	0	132,670	0	132,670
通信運搬費	0	0	208,838	0	208,838
建物減価償却費	0	0	146,656	0	146,656
什器備品減価償却費	0	0	38,606	0	38,606
消耗什器備品費	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	285,048	0	285,048
修繕費	0	0	28,500	0	28,500
印刷製本費	0	0	88,084	0	88,084
燃料費	0	0	25,029	0	25,029
光熱水料費	0	0	91,010	0	91,010
賃借料	0	0	3,147,913	0	3,147,913
保険料	0	0	229,694	0	229,694
諸謝金	0	0	2,415,524	0	2,415,524
租税公課	0	0	23,430	0	23,430
負担金	0	0	711,040	0	711,040
手数料	0	0	1,141,235	0	1,141,235
委託費	0	0	212,114	0	212,114
雑費	0	0	32,931	0	32,931
管理費計	0	0	33,761,151	0	33,761,151
経常費用計	249,956,834	13,779,993	33,761,151	0	297,497,978
評価損益等調整前当期経常増減額	204,176	11,967,235	5,367,260	0	17,538,671
当期経常増減額	204,176	11,967,235	5,367,260	0	17,538,671
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
その他の経常外収益					
賞与引当金戻入額	0	0	0	0	0
ポイント引当金戻入額	0	0	0	0	0
その他の経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産減損損失					
固定資産除却損	1	0	0	0	1
固定資産減損損失計	1	0	0	0	1
経常外費用計	1	0	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	0	0	△ 1
他会計振替額	5,101,624	△ 5,101,624	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,305,799	6,865,611	5,367,260	0	17,538,670
法人税、住民税及び事業税	0	1,643,300	0	0	1,643,300
当期一般正味財産増減額	5,305,799	5,222,311	5,367,260	0	15,895,370
一般正味財産期首残高					652,811,636
一般正味財産期末残高					668,707,006
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
III 正味財産期末残高					668,707,006

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

当財団では、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会により公表された会計基準）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法
満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ①建物及び建物付属設備
定額法によっている。
 - ②上記以外の資産
平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては、定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準

賞与引当金
役員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上している。

退職給付引当金
退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

ポイント引当金
MANAVIVA!会員の将来のポイント使用による費用負担に備えるため、当期末における未使用残高を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

2. 会計方針の変更

従来、前事業年度末に計上していた賞与引当金及びポイント引当金を戻入れ計上する際は、賞与引当金戻入額及びポイント引当金戻入額勘定を用いて計上していたが、当事業年度より給料手当及び委託費勘定を用いて計上する方法に変更した。

この変更は、経常外収益の部に計上していた賞与引当金戻入額及びポイント引当金戻入額を、当期経常増減額に反映させ、公益法人会計基準（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の求める公益事業の収支相償基準をより正確に認識するために行った。

この変更により、従来の表示区分と比較して事業費の給料手当が4,463,776円、委託費が73,618円、管理費の給料手当が1,637,196円減少し、当期経常増減額を6,174,590円増加させている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	692,933	0	0	692,933
投資有価証券	522,029,545	81,072	59,800	522,050,817
小 計	522,722,478	81,072	59,800	522,743,750
特定資産				
退職給付引当資産	58,396,213	3,794,848	210,121	61,980,940
誘致助成金積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
開催準備資金貸付資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	73,396,213	3,794,848	210,121	76,980,940
合 計	596,118,691	3,875,920	269,921	599,724,690

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	692,933	(0)	(692,933)	—
投資有価証券	522,050,817	(0)	(522,050,817)	—
小 計	522,743,750	(0)	(522,743,750)	—
特定資産				
退職給付引当資産	61,980,940	(0)	(0)	(61,980,940)
誘致助成金積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
開催準備資金貸付資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	76,980,940	(0)	(15,000,000)	(61,980,940)
合 計	599,724,690	(0)	(537,743,750)	(61,980,940)

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,986,323	6,606,880	5,379,443
什器備品	2,536,455	2,387,853	148,602
ソフトウェア	108,000	88,200	19,800
合 計	14,630,778	9,082,933	5,547,845

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
337回 利付国庫債券(10年)	59,972,311	60,402,000	429,689
154回 利付国庫債券(20年)	180,747,490	192,402,000	11,654,510
11回 利付国庫債券(30年)	181,331,016	204,513,400	23,182,384
1-1 静岡市公債	100,000,000	98,210,000	-1,790,000
合 計	522,050,817	555,527,400	33,476,583

8. 金融商品に対する取り組み方針

公益目的事業の財源の一部分を運用益によって賄うため、債券により資金運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(1) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(2) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資金運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行う。

②リスクの管理

債券については、発行体の状況及び時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	静岡市	0	107,980,000	107,980,000	0	一般正味財産
観光案内所運営事業費補助金	静岡市	0	24,082,000	24,082,000	0	一般正味財産
観光宣伝事業補助金	静岡市	0	10,794,000	10,794,000	0	一般正味財産
地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業補助金	観光庁	0	6,500,000	6,500,000	0	一般正味財産
地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業補助金	観光庁	0	6,000,000	6,000,000	0	一般正味財産
地域一体となった宿泊施設のDX人材育成に向けたアドバイザー派遣事業	観光庁	0	1,284,120	1,284,120	0	一般正味財産
負担金						
コンベンション・シティ推進事業負担金	静岡市	0	8,300,000	8,300,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	焼津市	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	藤枝市	0	450,000	450,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	島田市	0	250,000	250,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	静岡商工会議所	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
DMO推進事業負担金	静岡市他4市2町	11,782,731	66,000,000	68,028,472	9,754,259	一般正味財産
合 計		0	232,640,120	234,668,592	9,754,259	

10. 関係当事者との取引の内容

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,100,972	5,910,684	6,100,972	—	5,910,684
退職給付引当金	58,396,213	3,794,848	210,121	—	61,980,940
ポイント引当金	73,618	7,436	73,618	—	7,436

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	小口現金	手元保管	つり銭として	55,000
	普通預金	静岡銀行呉服町支店	運転資金として	156,560,351
		静岡信用金庫本店営業部	運転資金として	96,865
		しずおか焼津信用金庫追手町支店	運転資金として	236,180
		しずおか焼津信用金庫高松支店	運転資金として	1,302,800
	未収金	静岡市等	施設管理に対する受託金、事業運営受託金等	22,854,399
	貯蔵品	コンベンション支援品等	公益目的事業の用に供している。	547,124
前払金	(株)第一不動産他	事務所賃借料、保険料等	1,779,819	
仮払金	(公財)静岡市勤労者福祉サービスセンター他	退職者分会費等	46,700	
流動資産合計				183,479,238
(固定資産)				
基本財産	定期預金	静岡銀行呉服町支店	静岡市等からの出捐金 運用益は50%を公益目的事業の財源に、50%を法人運営の財源として使用している。	692,933
	投資有価証券	みずほ証券(株)他	静岡市等からの出捐金 運用益は50%を公益目的事業の財源に、50%を法人運営の財源として使用している。	522,050,817
基本財産合計				522,743,750
特定資産				
	退職給付引当資産	静岡銀行呉服町支店	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	61,980,940
		清水銀行静岡支店	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	1,980,940
		スルガ銀行静岡支店	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000
		しずおか焼津信用金庫追手町支店	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000
		しずおか焼津信用金庫本店営業部	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000
		静岡信用金庫本店営業部	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	20,000,000
		国際会議誘致助成金積立資産	静岡銀行呉服町支店	コンベンション誘致事業の積立資産であり、国際会議誘致助成金支出に備えたもの
コンベンション開催準備資金貸付金積立資産	静岡銀行呉服町支店	コンベンション誘致事業の資産であり、コンベンション開催準備資金貸付に備えたもの	10,000,000	
特定資産合計				76,980,940
その他固定資産				
	建物	静岡事務所内装、清水事務所内装他 静岡市葵区日出町1-2、清水区辻1丁目1-3-103	事業及び管理業務の用に供している。	5,379,443
		静岡市葵区日出町1番地の2	事業及び管理業務の用に供している。	148,602
		静岡市葵区日出町1番地の2	事業及び管理業務の用に供している。	448,256
		静岡市葵区日出町1番地の2	静岡事務所として、事業及び管理業務の用に使用している。	6,471,840
		東京都港区虎ノ門4-1-20 (一社)全国旅行業協会	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。(弁済業務保証金分担金)	600,000
		静岡市葵区日出町1番地の2	公益目的事業の誘致用資料として活用している。	19,800
その他固定資産合計				13,067,941
固定資産合計				612,792,631
資産合計				796,271,869
(流動負債)				
	未払金	(株)東海道シグマ他	3月分人材派遣費他	55,543,805
	前受金	(株)丸井	令和5年度ショーケース利用料	528,000
	預り金	日本年金機構	退職者社会保険料	41,818
	仮受金	しずてつジャストライン(株)	管理施設での売上金	236,180
	未払消費税等	静岡税務署等	期末納付消費税未払い分	1,672,700
	未払法人税等	静岡税務署等	期末納付法人税未払い分	1,643,300
	賞与引当金	役員に対するもの	役員に対する夏季賞与の支払いに備えたもの	5,910,684
	ポイント引当金	MANAVIVA!会員に対するもの	会員のポイント使用による費用負担に備えたもの	7,436
	流動負債合計			
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員9名に対する退職金の支払いに備えたもの	61,980,940
固定負債合計				61,980,940
負債合計				127,564,863
正味財産				668,707,006

事業 年度	自	令和4年4月1日	法人コード	A007688
	至	令和5年3月31日	法人名	公益財団法人するが企画観光局

資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 資金調達の実績について




借入れの実績			<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入先	金額		
		円		

2 設備投資の実績について

設備投資の実績			<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の実績額	資金調達方法又は取得資金の使途	
		円		

公益財団法人するが企画観光局
理事長 田辺 信宏 殿

公益財団法人するが企画観光局

監事
(署名) 吉田 大輔 
監事
(署名) 西ヶ谷 博行 
監事
(署名) 佐藤 正欣 

監査報告書

私たち監事は、当法人の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事はそれぞれ、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法とあわせて、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書について

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。
- ③ 内部統制体制の整備についての決定又は決議の内容について相当でない事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

- ① 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- ② 追記情報
 - ア 会計方針の変更
賞与引当金及びポイント引当金を戻入れ計上する際の計上方法を変更しました。

以上

